

## Quickie® NITRUM®

販売代理店へ： このマニュアルはこの車椅子の使用者に必ず渡してください。

使用される方へ： この車椅子をご利用になる前にこのマニュアルをすべて読み、後日また参照できるように保管してください。

オーナーマニュアル

P/N 249817 改定 C

# Nitrum®

取扱説明書



[www.SunriseMedical.com/  
register](http://www.SunriseMedical.com/register)

ご質問にお答えするために

担当の販売代理店はお客様の車椅子を熟知しており、その安全性、使用方法、メンテナンスに関するほとんどの疑問にお答えできます。

今後のために、次の情報を記入しておいてください。

販売店： \_\_\_\_\_

住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

シリアル番号： \_\_\_\_\_ 購入日： \_\_\_\_\_

### その他の重要な情報

この椅子の部品には天然ゴムラテックスを使用していません。



### 廃棄とリサイクルに関する情報

この製品が寿命を迎えた場合、地元自治体が指定した回収/リサイクル場所に持って行きます。この製品はさまざまな素材でできています。お使いの製品は家庭ごみとして廃棄するべきものではありません。お住いの地域の法律や規制に従って廃棄することが必要です。この製品に使用されている素材のほとんどは、完全なリサイクルが可能です。製品廃棄時に個別の回収・リサイクルに出すことは、天然資源の保護に役立ち、環境にやさしい方法でリサイクルされることにつながります。

上記の推奨事項と法的要件に従って製品の廃棄手続きをする前に、お客様が製品の法的所有者であることを確認してください。

## II. 目次

I.	序	2	K.	後輪	13
II.	目次	3	L.	後輪ブレーキ	13
III.	構成と部品	4	M.	シートシステムの変更	14
IV.	注意 — ご使用前にお読みください	4	N.	シートと背面クッション	14
	A. 適した車椅子とオプションをお選びください	4	O.	張力調整式バックサポート	14
	B. このマニュアルは頻繁に読み返してください	4	P.	フリースタイルバックサポート (オプション)	14
	C. 警告	4	Q.	角度調整可能な折りたたみ式バックサポート	14
V.	一般的な警告	5	R.	シートの背面	14
	A. 重量制限	5	S.	バックサポート - 補強バー	14
	B. 想定される用途	5	VIII.	使用方法とメンテナンス	15
	C. 付添人および介助者	5	A.	序	15
	D. アクセサリー	5	B.	重要な安全確認	15
	E. 使用する車椅子を知る	5	C.	清掃	15
	F. 事故のリスクを抑える	5	D.	安全チェックリスト	15
	G. 安全チェックリスト	5	E.	トラブルシューティングチャート	15
	H. 変更と調整	5	F.	後輪の取り付けと取り外し	16
	I. 環境条件	6	G.	ブレーキ	16
	J. 路面	6	H.	転倒防止	16
	K. 道路での使用	6	I.	高さ調整可能な単一支柱式アームレスト (オプション)	17
	L. 自動車での安全確保	6	J.	クッション付きスウィングアウェイアームレスト (オプション)	17
	M. 手助けが必要な場合	7	K.	跳ね上げ式フットプレート (オプション)	17
	N. 誤飲	7	L.	フリースタイルバックサポート (オプション)	17
	O. ピンチポイント	7	M.	バックサポートの角度の性能	18
	P. 尖った角	7	N.	張力調整式背布	18
	Q. 感電	7	O.	シートスリングの調整	19
	R. LEDとバッテリーパック	7	P.	張力調整式シートスリング	19
VI.	安全上の警告：転落と転倒	8	Q.	クッションの取り付け方法	19
	A. 重心	8	R.	収納のヒント	19
	B. 服を着る、または着替える	8	S.	LEDとバッテリーパック	20
	C. 障害物	8	T.	確認	20
	D. 前部キャスターの浮き上がり	8	IX.	販売店による整備と調整	21
	E. 乗り出す、またはもたれる	8	A.	販売店による整備について	21
	F. バックする	9	B.	重要なメンテナンスのヒント	21
	G. エスカレーター	9	C.	清掃	21
	H. 傾斜路、傾斜地、斜面	9	D.	後輪車軸ナットの調整	21
	I. 乗り降り	10	E.	転倒防止チューブの受け	21
	J. 縁石および1段の段差	10	F.	ブレーキ	22
	K. 縁石または1段の段差の上り	11	G.	アームレストの受けの取り付け	22
	L. 縁石または1段の段差の下り	11	H.	クッション付きスウィングアウェイアームレスト (オプション)	23
	M. 階段	11	I.	キャスター	23
	N. 階段を上る	11	J.	キャスターフォークの調整	24
	O. 階段を下る	11	K.	フットサポートの高さ調整	26
VII.	警告：部品とオプション	12	L.	後座高の調整	26
	A. 転倒防止チューブ	12	M.	バックサポート	27
	B. アームレスト	12	N.	フリースタイルバックサポートのメンテナンスと調整	27
	C. クッションとスリングシート	12	O.	4リンク式リアサスペンション	28
	D. 留め具	12	P.	後輪の車軸	29
	E. フットサポート	12	Q.	後輪のスペーシング	31
	F. 標準空気入りタイヤ	12	R.	確認	31
	G. オフセットシーティング (オプション)	13	X.	技術データ	32
	H. ポジショニングベルト (オプション)	13			
	I. プッシュハンドル (オプション)	13			
	J. クイックリリース式車軸	13			

Nitrum



ハイブリッド  
フレーム

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 背面クッション    | 7. キャスターハウジング |
| 2. タイヤ        | 8. キャンバーチューブ  |
| 3. ハンドリム      | 9. キャスターフォーク  |
| 4. クイックリリース車軸 | 10. フットサポート   |
| 5. スポーク       | 11. ブレーキ      |
| 6. キャスターホイール  | 12. シートスリング   |

メモ：車椅子の設定や別の機能との関係により、一部の機能が利用できない場合があります。詳細は、担当の販売代理店にお問い合わせください。

解放固定式  
フロントフレーム



IV.注意 — ご使用前にお読みください

A. 適した車椅子とオプションをお選びください

Sunriseでは、お客様のニーズにお応えするため、さまざまなスタイルの車椅子をご用意しています。この製品は一人で用いられることを前提としています。車椅子のタイプ、オプション、調整はすべて、最終的にはお客様とかかりつけの医療機関の選択に任せられます。お客様固有の活動ニーズに最適な車椅子の選択には、次の要素が深く関係します：

1. お客様の障害、握力、バランス、体の協調性。
2. 日常生活において対処が必要な危険のタイプ（生活や仕事の場や、その他車椅子を使用すると思われる場所における危険）。
3. 姿勢や安全、快適さを向上させるために必要なオプション（転倒防止チューブ、ポジショニングベルト、特別なシーティングシステムなど）。

B. このマニュアルは頻繁に読み返してください

この車椅子を使用する前にお客様および介助者全員がこのマニュアルをすべて読み、すべての指示に従ってください。警告は、しっかりと身につくまで頻繁に参照してください。

C. 警告 ⚠

「警告」という言葉は、お客様や他の人に重篤な負傷や死亡の恐れがある危険または安全ではない行為を表します。「警告」には主に次の3つのものがあります：

1. V - 一般的な警告  
車椅子に乗る前に注意を払うことが必要な安全に関するチェックリストとリスクの概要が記載されています。
2. VI - 安全上の警告：転落と転倒  
車椅子の安全な使用方法についての説明と、日常生活における車椅子利用時の転落と転倒を防止する方法が記載されています。
3. VII - 警告 — 部品とオプション  
車椅子の部品と安全確保のために選択できるオプションについての説明が記載されています。安全に使用するために最適な設定とオプションについては、担当の販売代理店と医療機関に相談してください。

メモ - 場合により、このマニュアルの別のセクションにも「警告」があります。そのようなセクションにあるすべての警告に注意を払ってください。これを怠ると、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## V. 一般的な警告

### A. 重量制限

#### ⚠ 警告

Sunrise Medical が指定する重量制限を絶対に越えないでください。製造元が指定する積載量は、乗り手の重量と荷物スペースに積む物の重量の合計を対象としています。重量制限を超えると、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

#### 積載量

Quickie NITRUM (解放固定式フロント) - 275lb (125kg)

Quickie NITRUM (ハイブリッドフレーム) - 300lb (136kg)

### B. 想定される用途

NITRUM 車椅子は座った姿勢での移動に使用することを想定しています。

#### ⚠ 警告

この器具を、製造者が意図していない目的に使用しないでください。

1. この車椅子はウェイトトレーニングを行える設計になっておらず、これに座ってウェイトトレーニングを行うことは安全ではありません。車椅子でウェイトトレーニングを行うことは車椅子の安定性に大きく影響し、傾く場合があります。
2. 車椅子のフレームの上に立って登らないでください。
3. 絶対に、他の人に車椅子の上で立ち上がったたり脚立の代わりに使ったりさせないでください。
4. この車いすは一人乗りとして設計されています。
5. 未公認の変更や、Sunrise Medical が提供しているか Sunrise Medical が承認しているもの以外の部品やアクセサリ-の使用は、車いすの構造を変化される恐れがあります。このようなことは保証の無効化や安全上の問題を引き起こす場合があります。警告を無視すると、車いすを損傷したり、想定外の利用をした人が重篤な怪我をする恐れがあります。

### C. 付添人および介助者

#### ⚠ 警告

使用者を支援する前に、このマニュアルに記載されているすべての警告を必ず読み、該当するすべての指示に従ってください。医療関係者に相談したあと、安全で実績のあるボディメカニクスについて学び、ご自身の能力に最も適した支援方法を作成することが必要であることに注意してください。

### D. アクセサリ-

#### ⚠ 警告

未公認の変更や、Sunrise Medical が提供しているか Sunrise Medical が承認しているもの以外の部品やアクセサリ-の使用は、車いすの構造を変化される恐れがあります。このようなことは保証の無効化や安全上の問題を引き起こす場合があります。

起こりうる問題の例を挙げます：

1. 不適切なホイールやタイヤは使用者が落下したり転倒したりするリスクがあります。
2. フレームに部品を追加すると、構造の整合性に変化が生じます。
3. 変更や分解は、安全とは言えない状況をもたらして使用者や付添人を危険にさらす可能性があります。

### E. 使用する車椅子を知る

#### ⚠ 警告

車椅子は1つ1つ異なっています。乗り始める前に、時間をかけてご自分の車椅子について理解してください。ゆっくりなめらかな動きで、ゆっくりスタートします。別の車椅子に慣れている場合、力を入れすぎて転倒することがあります。力を入れすぎると、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### F. 事故のリスクを抑える

#### ⚠ 警告

1. 車椅子に乗り始める前に、安全な使い方について、かかりつけの医療機関によるトレーニングを受けてください。
2. ご自身の能力の限界を把握するまで、かがむ、乗り出す、および乗り降りの動作を練習してください。どのような場合に転落したり転倒したりするか、それを防ぐにはどうしたらよいかはわかるまでは、どなたかにサポートしてもらってください。
3. ご自身の機能や能力のレベルに最適な安全対策を立てる必要があります。
4. 新しい操作にチャレンジする際は、絶対にひとりでやらないでください。かかりつけの医療機関に転落や転倒のリスクを低減する方法について相談してください。
5. 車椅子を使うことを予定している場所について調べておきましょう。危険とその回避方法を知っておきましょう。

### G. 安全チェックリスト

#### ⚠ 警告

毎回の使用前に：

1. 車椅子が簡単に動き、すべての部品がスムーズに機能していることを確認します。異音、振動、使用感の違いをチェックします。(これらはタイヤの空気圧の低下、留め具のゆるみ、車いすの損傷に起因している場合があります)
2. 問題があれば速やかに修理してください。担当の販売店では、問題の発見と対処を支援しています。
3. 後輪の車軸のクイックリリースが両方ともロックされているか確認します。ロックされている場合、車軸のボタンが完全に「飛び出で」ています。ロックされていないと車輪が外れて転落することがあります。
4. 転倒防止チューブが搭載されている場合、所定の位置に固定してください。

### H. 変更と調整

#### ⚠ 警告

1. 変更や調整が必要な場合は常に、かかりつけの医療機関でシーティングコンポーネントを調整してもらってください。
2. 未公認の変更や、Sunrise Medical が提供しているか Sunrise Medical が承認しているもの以外の部品の使用は、車いすの構造を変化される恐れがあります。このようなことは保証の無効化や安全上の問題を引き起こす場合があります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## I. 環境条件



**警告**

- 濡れていたり滑りやすくなっていたりする場所で車椅子に乗らなければならない場合は、特に注意を払ってください。自信がない場合は支援を求めてください。
- 水分や過度な湿度は車椅子の錆や腐食の原因となります。可能な限り、厳しい気象条件下での使用は避けてください。
  - シャワーやプール、その他水に関わる場所で車椅子を使わないでください。車椅子のパイプには防水対策が施されていないため、内部に錆や腐食が生じる場合があります。
  - 過度な湿度を避けてください（シャワーを浴びる際に湿度の高い浴室内に置くなど）。
  - 車椅子が濡れたり、水洗いしたりした時は、できるだけ早く乾かしてください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## J. 路面

**警告**

- 車椅子で日常的に 1/2 インチ (1.27cm) 以内の障害物を越える必要がある場合、ANSI/RESNA 試験の結果から、Sunrise Medical ではタイヤ径が 5 インチ (12.7cm) 以上のキャストホイールを使用することを推奨します。
- ご使用の車椅子は、コンクリート、アスファルト、屋内の床材やカーペットなど、締まった平らな場所で使用する前提で設計されています。砂地、ふかふかした土、石や岩の多い場所では車椅子を使わないでください。
- 上記よりも路面が荒いところで車椅子を使用すると、ねじやボルトの緩みが早くなったりホイールや車軸を傷めたりする恐れがあり、使用者が転落や転倒したり制御不能に陥ったりするリスクがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## K. 道路での使用

**警告**

- この製品は道路での使用を想定していません。
  - 可能な限り、道路での使用は避けてください。
  - 法律で定められた歩道を使い、歩行者に適用される法律を順守してください。
  - 駐車場の中や、道路を横断する際は、自動車に注意してください。
- この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

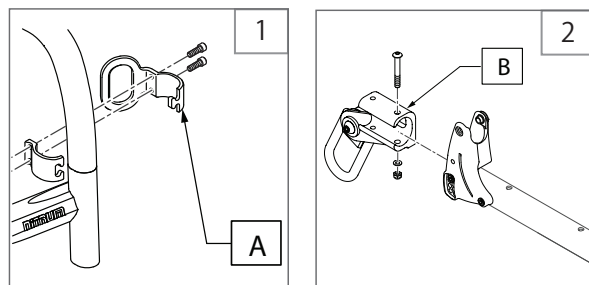
L. 自動車での安全確保 1 2

可能な限り、使用者は OEM 車両シートに移動して OEM 車両の固定具を使用すべきです。

Sunrise Medical では、WC-19 車椅子および乗員固定システム、あるいは車載時用固定フックオプションと呼ばれるものを提供しています。ご使用の車椅子が車載時用固定フックオプションを搭載しているかどうかを確認するには、4つの固定ポイントを探します。前部に2つ(A)、後部に2つ(B)です。これらは、固定ポイントの上または近くに付けられている固定ポイントデカールが目印となっています。ご使用の車椅子に車載時用固定フックオプションが搭載されている場合、詳細情報や使用方法を車椅子に添付されている付録の「Transit Securement (車移動時の安全確保)」を参照してください。お持ちでない場合、販売代理店または Sunrise Medical にご連絡ください。



車椅子に付けられているこのマークを探してください。これは、ANSI/RESNA (1998) V.1 - セクション 19 および ANSI/RESNA (2012) V.4 WC-19 に準拠する固定ポイントを示しています。



**警告**

ご使用の車椅子に車載時用固定フックオプションが搭載されていない場合:

- 車が動いているときに車椅子に人を乗せないでください。
  - 必ず、使用者を許可されている車のシートに移動させます。
  - 必ず、使用者を適切な自動車用固定具で固定します。
- 事故や急停車の際に、使用者が車椅子から投げ出される恐れがあります。車椅子のシートベルトではこれを防止することはできず、ベルトやストラップによって怪我をする恐れもあります。
- 絶対に、この車椅子を車の前部シートに載せて運ばないでください。動いて運転の妨げになることがあります。
- 必ず車いすを固定して、転がったり動いたりしないようにしてください。
- 交通事故に遭った車椅子は使用しないでください。事故により、フレームや部品に変化が起きている可能性があります。そのようなものには、衝撃により歪み、ゆるみ、部品の破損などが生じていることがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## V. 一般的な警告

### M. 支援が必要な場合

#### ⚠ 警告

使用する方へ：支援者全員が、対象となる警告と指示をすべて読んで従うようにしてください。

付添いの方へ：

1. 使用者の主治医、看護師、セラピストと協力して、ご自身の能力と使用者の能力に最適な安全対策を学んでください。
2. 使用者にご自身がしようとしていることを説明し、使用者にしてみたいことを説明します。これにより、使用者を安心させ、事故のリスクを低減できます。
3. 車椅子にプッシュハンドルがあることを確認します。付添人が車椅子の後部を掴んで転落や転倒を防ぐための固定ポイントとなるものです。プッシュハンドルのグリップが回転したり抜け落ちたりしないことを確認してください。
4. 腰を痛めないように、正しい姿勢と適切なボディメカニクスで介助してください。使用者を持ち上げたり支えたりする場合や、車いすを傾ける場合は、軽く膝を曲げ、腰をできるだけ上方にまっすぐ立てた状態を保ちます。
5. 車椅子を後方に傾ける際には、使用者に後ろにもたれるように伝えます。
6. 縁石や段差 1 段を下る際は、一連のなめらかな動作でゆっくりと車椅子を下ろします。残り数センチのところでは車椅子を地面に落とさないようにしてください。車椅子が破損したり、使用者が怪我をしたりする恐れがあります。
7. つまづかないように、転倒防止チューブのロックを外して上向きに回し、進路を妨げないようにします。
8. 車椅子から離れるときは、必ず、ブレーキで後輪を固定し、転倒防止チューブを所定の位置に固定してください。

自信がないにもかかわらず支援を求めずにいると、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く事態に直面する可能性が高まり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### N. 誤飲

#### ⚠ 警告

メモ - この車椅子は多数の小さな部品で構成されており、小さなお子さまが飲み込んだりのに詰まらせたりする危険があります。車椅子のメンテナンスなどを行う際には、外した部品にお子さまが手を触れないように注意してください。お子さまが部品を飲み込んだ場合は、ただちに救護を求めてください。

### O. ピンチポイント

#### ⚠ 警告

メモ - この車椅子は多数の可動部品で構成されており、物や指が挟まることがあります。調整をしたり、たたんだり広げたり、動かしたりしているときなど、部品に動きが生じている状況ではよく注意してください。

### P. 尖った角

#### ⚠ 警告

メモ - この車椅子はさまざまな形やサイズの部品と金属類で構成されています。車椅子を使用したり扱ったりする際には、角に当たって引っかかりたり切ったりしないように注意してください。

### Q. 感電

#### ⚠ 警告

メモ - この車椅子を使用する際には、使用者、介助者、車椅子が感電するような状況にならないようによく注意してください。たとえば、オプションの LED やバッテリーパック周辺装置や配線のメンテナンスをする場合、車椅子使用時に水の近くで電気製品を使用する場合、悪天候時に車椅子に乗ったまま電気機器を操作する場合などです。

### R. LED とバッテリーパック

#### ⚠ 警告

メモ - LED ライトやバッテリーパックに対するメンテナンスや修理の必要性に、注意を払ってください。疑問を感じたら、LED ライトをバッテリーパックから切り離してください。担当の販売代理店または製造元に連絡して、疑問を感じた点について問い合わせてください。

- 初めて LED ライトを使用する際には、バッテリーが完全に充電された状態であることを確認して下さい。
- LED ライトのバッテリー：リチウムイオン電池（危険な製品）。
- 電気製品や電子部品は、お住いの地域で指定された方法で、家庭ごみとは別に廃棄することが必要です。使用済みの機器の正しい廃棄と分別収集により、健康や環境に悪影響を及ぼすことを防ぐことができます。使用済みの電気製品や電子部品は再利用やリサイクルが必須となっています。
- 使用済みの機器の廃棄に関する情報は、お住いの自治体、ご利用の廃棄物回収サービス、製品の販売店、担当の販売員にお問い合わせください。



## A. 重心

### ⚠ 警告

この車椅子がどのような場合に前、後、または横に傾くかは、重心や安定性によって変わります。車椅子の設定、選択しているオプション、加えている変更が、転落や転倒のリスクに影響する場合があります。

- 最も重要な調整は次の通りです：
  - 後輪の位置。後輪が前にあるほど、車いすは後に転倒しやすくなります。
- 重心も、次のことに影響を受けます：
  - 車椅子の設定の変更。例：
    - 後輪間の距離。
    - 後輪キャンバーの角度。
    - シートの高さと角度。
    - バックサポートの角度。
  - 体の位置、姿勢、体重のバランス。
  - 傾斜路や坂道での乗車。
  - リュックその他のオプションやその重さ。
- 事故のリスクを低減するには：
  - かかりつけの医師、看護師、セラピストに相談して最適な車軸やキャスター位置を見つけましょう。
  - 車椅子に変更や調整を行う前に、販売代理店に相談しましょう。重心を正しく調整するために、別の変更が必要となる場合があります。ご注意ください。
  - 使用する車椅子のバランスを保てるポイントを把握し、転倒を防ぐ方法を習得するまで、他の人にサポートしてもらいましょう。
  - 転倒防止チューブを使用しましょう。

この警告に従わない場合、転落や転倒、制御不能を招く事態に直面する可能性が高まり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## B. 服を着る、または着替える

### ⚠ 警告

この車椅子に乗ったまま服を着たり着替えたりすると、体重移動が生じることがあります。

転落や転倒のリスクを低減するには：

- 前部のキャスターを回転させて、できるだけ前に持っていきます。これにより、車椅子の安定性が高まります。
- 転倒防止チューブを所定の位置に固定します（転倒防止チューブが搭載されていない車椅子の場合、背面を壁に寄せて両後輪をロックします）。

この警告に従わない場合、転落や転倒、制御不能を招く事態に直面する可能性が高まり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## C. 障害物

### ⚠ 警告

縁石や障害物乗り越えると、転倒して重篤な怪我を負う場合があります。縁石や障害物を安全に乗り越える自信がない場合、必ず支援を求めてください。ご自身の操車技術と個人的な制約事項に注意を払ってください。新しいスキルを身に着ける際には、他の人に付き添ってもらってください。障害物乗り越える際のリスクを低減するには：

- 常に危険がないか注意します。車椅子を進める前に、進行方向をよく観察します。
- 住まいや職場の床が平らで障害物がないようにします。
- 部屋間の敷居を取り外すか覆います。

- 出入口のドア付近にスロープを取り付けます。スロープの端に段差がないようにします。
- 重心を正しく調整するには：
  - 障害物に上がるときに、上半身をやや前方に倒します。
  - 高いところから低いところを下るときに、上半身を後方に押し付けます。
- ご使用の車椅子に転倒防止チューブが搭載されている場合、付き添いなしに障害物乗り越えないでください。
- 障害物乗り越える際には、両手をハンドリムに置きます。
- 車椅子を動かすのに、物（家具やドア枠など）を支えにして押したり引いたりしないでください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く事態に直面する可能性が高まり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## D. 前部キャスターの浮き上がり

### ⚠ 警告

前部キャスターの浮き上がりとは、通常は接地している前輪が、意図の有無にかかわらず、後輪が接地した状態で床面から持ち上がることです。ピッチコントロール（部分的または完全）は、かかりつけの医療機関との相談なしには決して行わず、また転倒防止装置を必ず使用してください。

## E. 乗り出す、またはもたれる

### ⚠ 警告

乗り出したりもたれたりすることは、車椅子の重心に影響を及ぼします。転倒や転落の危険が生じることがあります。自信がない時は、支援を求めるか、離れたものを取る機器を使用しましょう。

- 体重を横に移動させたり、座面から体を浮かせたりして、乗り出したりもたれたりすることは絶対にやめてください。
- 座面の前方に体を移動させて、乗り出したりもたれたりすることは絶対にやめてください。臀部が常にバックサポートに触れているようにしてください。
- 両手を伸ばして物を取ることは絶対にやめてください（車椅子が傾いたときに、転落しないように体を支えることができない恐れがあります）。
- 転倒防止チューブが所定の位置に固定されている場合を除き、後方に乗り出したりもたれたりすることは絶対にやめてください。
- 背もたれ越しに乗り出したりもたれたりすることは絶対にやめてください。バックサポートのチューブの一方または両方を損傷したり、転落したりする恐れがあります。
- 乗り出したりもたれたりする必要がある場合：
  - 後輪をロックしないでください。転倒の原因を作り出すことになり、転落や転倒が起きやすくなります。
  - フットサポートに圧力をかけないでください。
  - 取りたいものに、車椅子をできるだけ近づけてください。
  - 床の上のものを取るときに、膝の間に体を入れるほどかがみこまないでください。車椅子の横方向に乗り出す方が、転倒しにくくなります。
  - 前部のキャスターを回転させて、できるだけ前に持っていきます。これにより、車椅子の安定性が高まります。
  - 片手で後輪またはアームレストをしっかり掴んでください。これにより、車椅子が傾いた時に転落しにくくなります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。



## VII. 安全上の警告: 転落と転倒

### F. バックする

#### ⚠ 警告

車椅子をバックさせる際には、細心の注意を払ってください。車椅子は、前進する時が最も安定しています。後輪の一方が障害物に当たって回転しなくなると、制御不能となって転倒する恐れがあります。

1. 車椅子をゆっくりなめらかに動かします。
2. 転倒防止チューブが搭載されている場合、正しい位置にしっかり固定されていることを確認してください。
3. 頻繁に止まって、進行方向に問題がないことを確認してください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### G. エスカレーター

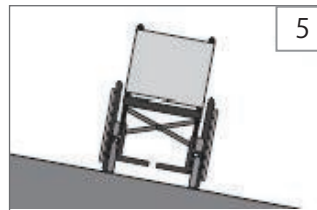
#### ⚠ 警告

この車椅子は、介助者がいる場合でも、絶対にエスカレーターで使用しないでください。使用すると、転落したり転倒したりする可能性があります。この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。



もしも坂道を下る場合:

- a. 下り坂の勾配は 6° 未満
- b. **ゆっくり進む**
- c. **常にまっすぐ進む**
- d. **常に速度を制御する**
- e. **絶対に坂道で方向を変えない**



もしも斜面を横切る場合:

- a. 斜面の勾配は 6° 未満  
そうでない場合転倒のリスクあり
- b. **絶対に止まらない**
- c. **斜面で方向を変えない**



もしも坂道を上る場合:

- a. 上り坂の勾配は 6° 未満
- b. **常にまっすぐ進む**
- c. **絶対に坂道の途中で止まらない**
- d. **絶対に坂道で方向を変えない**
- e. **常に前傾姿勢をとる**



もしも傾斜路を横切る場合:

- a. **ゆっくり進む**
- b. **転落に注意**
- c. **常にまっすぐ進む**
- d. **傾斜路の中央にいる**

### H. 傾斜路、傾斜地、斜面 3 4 5 6

#### ⚠ 警告

傾斜路や斜面を含む傾斜地での使用は、可能な限り避けてください。このような場所では車椅子の重心が変わってしまいます。傾いていると、車椅子の安定性が低下し、操縦しにくくなります。斜面を上る際には、転倒防止チューブでは転落や転倒を防げない場合があります。

1. 6° を超える傾斜地で車椅子を使用**しないで**ください。(6° の傾斜とは: 10 フィート進んだ時に 1 フット高度が上がるもの)
2. **常に**できるだけまっすぐ上り下りしてください。(傾斜地で「ショートカット」しないでください)
3. 傾斜地でターンしたり方向を変えたり**しないで**ください。
4. 傾斜路を走行する場合は、常に傾斜路の**中央**を通ってください。傾斜路に、側面から落下する危険性がないじゅうぶんな幅があることを確認してください。
5. 急な傾斜地の途中で停止**しないで**ください。止まると、操作不能に陥ることがあります。
6. **決して**後輪ブレーキを使って車椅子の速度を落としたり止めたりしようとしないでください。制御不能な旋回が起きる可能性があります。
7. **常に**次のことに注意してください:
  - a. 濡れていたり滑りやすい路面。
  - b. 傾斜地 (または縁や隆起やくぼみ) の勾配の変化。転倒や転落の危険が生じることがあります。
8. 転落や転倒のリスクを低減するには:
  - a. 斜面の上方に向かって体を傾けたり押し付けたりします。傾斜地や斜面によって変化した重心を補正するのに役立ちます。
  - b. 傾斜地を下る際はハンドリムに圧力をかけ続けて速度を制御します。速度が上がりすぎると制御不能に陥ることがあります。
  - c. 自信がない時はいつでも**支援を求めてください**。
9. 家庭や職場にある傾斜路 - 安全のため、家庭や職場にある傾斜路はすべてお住いの地域の法的要件に適合していることが必要です:
  - a. **転落の防止**  
最上部や最下部には、角度の変化にスムーズに適應できるだけのスペースが必要です。
  - b. **常に**傾斜路の中央を通り、速度を制御してください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## I. 乗り降り 7 8

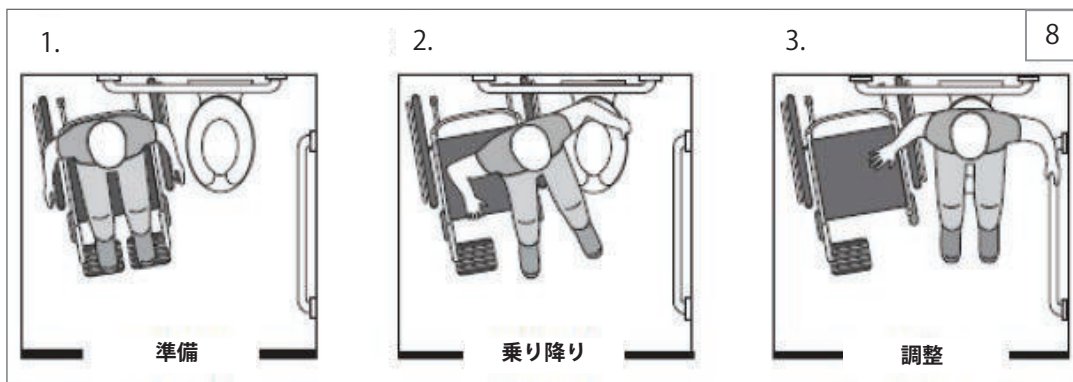
**警告**

一人で乗り降りするのは危険です。優れたバランス感覚と機敏さが求められます。乗り降りする際にはかならず、体の下にシートがないという状況が生じるタイミングがあることに注意してください。

転落を防ぐには:

1. かかりつけの医療機関と協力して、安全な乗り降りの方法を学びます。
  - a. 体の位置を決める方法と、乗り降りの最中に体を支える方法を学びます。
  - b. 安全な乗り降りの方法を習得するまで、誰かに手助けしてもらいましょう。
2. 乗り降りする前に、後輪をロックします。
3. それでも車椅子が滑ったり転倒したりすることがあることに注意してください。ブレーキにより、乗り降りしているときに後輪が回らないようにします。
4. 標準空気入りタイヤにきちんと空気が入っていることを確認します。タイヤの空気圧が低いと、後輪のブレーキが滑ることがあります。(セクション VII : F「標準空気入りタイヤ」の表を参照してください)
5. 車椅子を、移動先の椅子にできるだけ近づけます。可能であれば、移動用のボードを使いましょう。
6. 前部のキャスターを回転させて、できるだけ前に持っていきます。
7. できれば、フットサポートを外すか、外側に回してどけます。
  - a. 足がフットサポートの間に挟まらないようにします。
  - b. 車椅子がひっくり返る恐れがあるため、フットサポートに体重をかけないようにします。
8. アームレストが外されているか、または乗り降りの際の進路をふさいでいないかを確認します。
9. 移動先の座面のなるべく奥のほうに座ります。これにより、椅子が転倒したり離れて行ってしまったりするリスクを低減できます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。



## J. 縁石および1段の段差 9

**警告**

縁石を越えたり、たとえ1段であっても段差を通過する場合は常に、事前に支援を求めてください。縁石や障害物は、転倒して重篤な怪我を負う原因となる場合があります。障害物を回避したり乗り越えたりする自信がない時は、手助けを求めてください。ご自身の操車技術と個人的な制約事項に注意を払ってください。新しいスキルを身に着ける際には、他の人に付き添ってもらってください。

**付添いの方へ:** 縁石や段差の通過を支援する方全員が、付添人や介助者向けの指示や警告をすべて読んで従うことが必要です。

1. 高さのある縁石や段差 (4 インチ (10.16cm) を超えるもの) を、**支援なしに**越えようとししないでください。強行すると、バランス維持の限界を超え、転倒することがあります。
2. 縁石や段差はまっすぐ上がり、まっすぐに下りてください。斜めに上り下りすると、転倒したり転倒したりする可能性があります。
3. 縁石や段差から落ちると、衝撃で車椅子が破損したり、留め具がゆるんだりすることがあります。

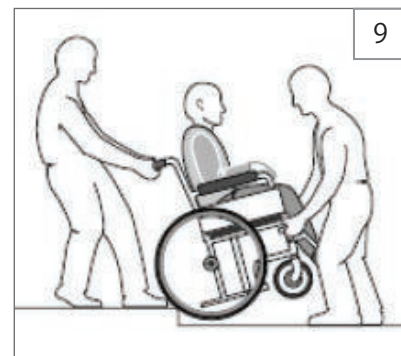
この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

最適な乗り降り位置

**乗り降りの前に:**

アームレストを跳ね上げるか外して、移動の邪魔にならないようにします。

フットサポートを跳ね上げるか外して、移動の邪魔にならないようにします。ブレーキがかかっていることを確認します。



## VII.安全上の警告: 転落と転倒

## K. 縁石または1段の段差の上り 9

**警告**

付添いの方へ：次の手順に従って、使用者が縁石または1段の段差を**後ろ向き**に上がる支援をしてください：

1. 車椅子の後ろに立ちます。
2. 後輪が縁石または段差に触れるまで後ろ向きに進みます。後輪を回転させて縁石または段差の上に引き上げます。
3. キャスターホイールが縁石の上をしっかりに乗って車椅子が通常の走行体制になるまで、そのまま後ろに引きます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## L. 縁石または1段の段差の下り 9

**警告**

付添いの方へ：付添いの方へ：次の手順に従って、使用者が縁石または1段の段差を**前向き**に下りる支援をしてください：

1. 車椅子の後ろに立ちます。
2. 縁石または段差の数フィート手前で、車椅子をやや後方に傾けるように引きます。
3. 車椅子のバランスがとれたら、縁石または段差の縁まで慎重に前に進みます。ゆっくりと後輪を回転させて、段差を下ります。
4. 車椅子と同じレベルに立てるまで、車椅子を押して前進します。
5. 後輪が下段で安定したら、傾けた車椅子を元に戻します。

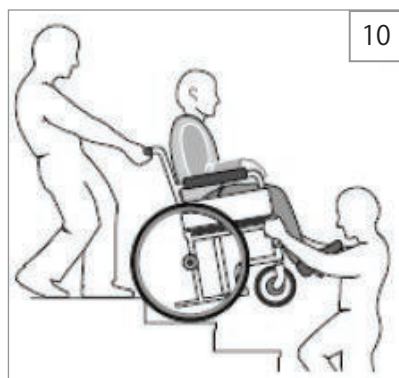
この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## M. 階段 10

**警告**

1. **支援なし**にこの車椅子を階段で使用することは**絶対にしない**でください。転倒や転落の危険が生じることがあります。
2. 車椅子で階段を通過するには、安全確保のために、2人以上の付添いが必要です。
3. アームレストを持って車椅子を持ち上げることは**絶対にしない**でください。ゆるんだり破損したりすることがあります。
4. 車椅子は、メインフレームの取り外しができない部分を使って持ち上げます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。



## N. 階段を上る 10

**警告**

1. 車椅子と使用者を階段の上に移動することは、2人以上で行ってください。
2. 車椅子と使用者を、**後ろ向き**で階段の上に移動させます。
3. 後ろ側にいる人がリードします。その人が、バランスが取れる位置まで車椅子を後方に傾けます。
4. 2人目の付添人が前方で前部フレームの取り外しができない部分をしっかりとつかみ、車椅子を持ち上げて階段の1段上にのせます（1度に1段）。
5. 2人の付添人が階段を1段上がります。これを、階段の終わりまで繰り返します。

## O. 階段を下る 10

**警告**

1. 車椅子と使用者を階段の下に移動することは、2人以上で行ってください。
2. 車椅子と使用者を、**前向き**で階段の上に移動させます。
3. 後ろ側にいる人がリードします。その人が、後輪でバランスが取れる位置まで車椅子を後方に傾け、最上段の階段の縁まで進みます。
4. 2人目の付添人が階段の3段下に立ち、車椅子のフレームをしっかりとつかみます。その人が、後輪を回転させて階段の縁から1段下に車椅子を下ろします（1度に1段）。
5. 2人の付添人が階段を1段下ります。これを、階段の終わりまで繰り返します。

## A. 転倒防止チューブ

### ⚠ 警告

転倒防止チューブは、通常の状態における後方への転倒防止に役立ちます。

1. Sunrise Medical では転倒防止チューブの使用を推奨しています。
2. 所定の位置に固定されている状態（「下向き」位置）では、転倒防止チューブの床面からの距離は 1½~2 インチ (3.81~5.08cm) の間でなければなりません。
  - a. 2 インチ (5.08cm) より離れていると、転倒を防止できないことがあります。
  - b. 1½ インチ (3.81cm) 未満にすると、障害物に「ひっかかって」転落したり転倒したりする恐れがあります。
3. 縁石を上り下りしたり障害物乗り越えたりしなければならない場合は、必要に応じて転倒防止チューブが上向きになっており、進路の妨げになっていないことを付添人に確認してもらいます。これにより、車椅子と利用者が立ち往生したり不安定な状況に陥ったりすることを防げます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## B. アームレスト

### ⚠ 警告

アームレストは取り外し可能なものであり、この車椅子の重量を支えることができません。

1. アームレストを持って車椅子を持ち上げることは絶対にしないでください。ゆるんだり破損したりすることがあります。
2. 車椅子は、メインフレームの取り外しができない部分を使って持ち上げます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## C. クッションとスリングシート

### ⚠ 警告

1. Quickie のスリングシートと標準のフォームクッションには圧力を軽減する機能がありません。
2. 圧力による痛みを感じる場合や痛みが出るリスクがある場合は、姿勢をコントロールする特別なシートシステムまたは器機が必要となる場合があります。お客様のウェルビーイングの実現維持にそのような器機が必要かどうかについては、かかつけの医師、看護師、セラピストに相談してください。
3. シートスリングは、その上に直接座るものではありません。使用する前に、クッションなどの敷物を置いてください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## D. 留め具

### ⚠ 警告

この車椅子に使用されている多くのねじ、ボルト、ナットは特別な強度を備えた留め具です。不適切な留め具の使用は、転落の原因となることがあります。

1. Sunrise Medical の販売代理店が提供する留め具（またはヘッドに記載されているタイプと強度が同等のもの）のみを使用してください。
2. 留め具は、締め方が過ぎても足りなくても、転倒や車椅子の部品の破損につながります。
3. ボルトやねじがゆるんだら、できるだけ速やかに締めなおしてください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## E. フットサポート

### ⚠ 警告

1. フットサポートの下端は床面から少なくとも 2 インチ (5.08cm) 離してください。低すぎると、日常的に遭遇する障害物に「引っかかって」しまうことがあります。このような場合、車椅子が急停車して前方に転倒する恐れがあります。
2. 乗り降りの際につまずいたり転落したりしないようにするには：
  - a. 足がフットサポートの間にある隙間に「ひっかかったり」挟まったりしないようにします。
  - b. 車椅子が前方に転倒する恐れがあるため、フットサポートに体重をかけないようにします。
  - c. 車椅子に乗り降りする際には、フットサポートを回転させてどけるか取り外して、進路をふさがないようにします。
3. フットサポートを持って車椅子を持ち上げることは絶対にしないでください。フットサポートは取り外し可能なものであり、この車椅子の重量を支えることができません。車椅子は、メインフレームの取り外しができない部分を使って持ち上げます。
4. フットサポートでドアを開けないでください。通常より故障しやすくなり、安全性が損なわれます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## F. 標準空気入りタイヤ

### ⚠ 警告

正常な空気圧はタイヤの寿命を延ばし、車椅子を使いやすくします。

1. 1 つでも空気圧が高すぎたり低すぎたりするタイヤがある場合は、車椅子を使用しないでください。タイヤの空気圧がタイヤ側面に記載されている正しい状態にあるかどうかを、週に 1 度確認してください。
2. 後輪の空気圧が低いと、側面のブレーキがスリップし、予期せぬ空回りが起きる場合があります。
3. タイヤのいずれかの空気圧が低いと、車椅子が 1 方向に旋回して、制御不能に陥ることがあります。
4. 空気圧が高すぎるとパンクすることがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### 推奨するタイヤ空気圧

タイヤ	推奨する空気圧またはその範囲		
	Nitrum	kPa	PSI
標準空気入り - 20"	x	448	65
標準空気入り - 22"	x	448	65
標準空気入り - 25"	x	448	65
標準空気入り - 26"	x	448	65
高圧クリンチャー (24" )	x	758	110
高圧クリンチャー (26" )	x	758	110
ノビー V-Track (24" )	x	448	65
シュワルベ マラソン (22" )	x	586-1000	85-145
シュワルベ マラソン (24" )	x	586-1000	85-145
シュワルベ マラソン (25" )	x	586-1000	85-145
シュワルベ マラソン (26" )	x	586-1000	85-145
シュワルベ Speed Run (24" )	x	586-1000	85-145
シュワルベ Speed Run (26" )	x	586-1000	85-145

## VII. 警告: 部品とオプション

### G. オフセットシーティング (オプション)

#### ⚠ 警告

1. バックサポートの位置を前方または後方に変更すると、車椅子の重心に影響します。
2. このオプションは、前方へのオフセットマウントシーティング機構を取り付ける場合のみ使用し、標準のバックスリングでは使用しないでください。
3. バックサポートの位置を前後に調整したり変更したりするたびに、後方に転倒しやすくなります。変更慣れて転倒する危険性がなくなったと確信するまでは、転倒防止装置を使用してください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### H. ポジショニングベルト (オプション)

#### ⚠ 警告

ポジショニングベルトは主に姿勢のサポートに使用します。また、車椅子が動いているときに体が滑ったりずれたりすることを抑えるために使用することもできます。ポジショニングベルトは乗り物で使用されるレベルの安全ベルトではないため、自動車で移動する際のシートベルト代わりに使用することはできません。ポジショニングベルトを不適切に使用すると、重篤な負傷や死亡の恐れがあります。ポジショニングベルトを使用する際には、このセクションに記載されている推奨事項を遵守してください：

1. 使用者が車椅子のシートから滑り落ちないようにすること。このようなことが起こると、ベルトから受ける圧力で使用者の胸部が圧迫されたり窒息したりする恐れがあります。
2. ベルトはぴったりと締めますが、呼吸を阻害するので締めすぎないようにします。ベルトと使用者の体の間に伸ばした手のひらを差し込んで滑らせることができる必要があります。
3. 三角の骨盤サポートクッションまたは類似の物で使用者がシートから滑り落ちにくくすることができます。使用者にそのような器機が必要かどうかについては、かかりつけの医師、看護師、セラピストに相談してください。
4. ポジショニングベルトは使用者の協力が得られる場合のみ使用してください。緊急時には、使用者が簡単にベルトを外せることを確認してください。
5. 次の用途には絶対にポジショニングベルトを使用しないでください
  - a. 患者の拘束。拘束には医師の指示が必要です。
  - b. 昏睡状態や興奮状態にある使用者の固定。
  - c. 自動車での固定。事故や急停車の際に、使用者が車椅子から投げ出される恐れがあります。車椅子のポジショニングベルトではこれを防止することはできず、ベルトやストラップによって怪我をする恐れもあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### I. プッシュハンドル (オプション)

#### ⚠ 警告

付添人がいる場合、使用する車椅子にプッシュハンドルがあることを確認してください。

1. プッシュハンドルは付添人が車椅子の後部を掴んで転落や転倒を防ぐための固定ポイントとなるものです。
2. プッシュハンドルのグリップが回転したり抜け落ちたりしないことを確認してください。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### J. クイックリリース式車軸

#### ⚠ 警告

1. 両後輪のクイックリリース式車軸がロックされていることを確認するまでは、車椅子を使用しないでください。
2. 車軸はクイックリリースボタンが完全に飛び出すまではロックされません。
3. ロックしていない車軸は使用中に外れることがあり、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。
4. クイックリリース式車軸は定期的に清掃し、機能や摩耗、歪みを点検します。必要に応じて交換します。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### K. 後輪

#### ⚠ 警告

後輪の設定を変更すると、車椅子の重心に影響します。

1. 後輪の車軸が前にあるほど、車いすは後に転倒しやすくなります。
2. ご使用の車椅子に最適な後輪車軸の設定については、かかりつけの医療機関に相談してください。かかりつけの医療機関に相談する前に設定を変えないでください。
3. 後輪車軸に変更を加えたら、後輪ブレーキを調整します。
  - a. これを怠ると、後輪ブレーキが機能しなくなることがあります。
  - b. ブレーキをかけた時にブレーキアームが少なくとも 1/8 インチ (0.32cm) タイヤに食い込むようにします。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

### L. 後輪ブレーキ

#### ⚠ 警告

後輪ブレーキは動いている車椅子を減速させたり停止させたりする仕様にはなっていません。止まっている車椅子の後輪が回転しないように固定するために使用します。

1. 車椅子が動いているときには、決して後輪ブレーキを使って車椅子の速度を落としたり止めたりしようとししないでください。転倒や転落の危険が生じることがあります。
2. 後輪が回転しないように固定するため、車椅子に乗り降りする際にはかならず両方の後輪ブレーキをかけてください。
3. 後輪の空気圧が低いと、側面のブレーキがスリップし、予期せぬ空回りが起きることがあります。
4. ブレーキをかけた時にブレーキアームが少なくとも 1/8 インチ (0.32cm) タイヤに食い込むようにします。これを怠ると、ブレーキが効かないことがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## M. シートシステムの変更

### ⚠ 警告

Sunrise Medical 未公認のシートシステムを使用すると、車椅子の重心が変わることがあります。このような場合、車椅子が転倒する恐れがあります。

1. Sunrise Medical 販売代理店への事前相談なしに、シートシステムを変更しないでください。
2. Sunrise Medical 未公認のシーティングシステムを使用すると、バックサポートの折り畳み機能に影響することがあります。
3. Sunrise Medical が提供しているものではないシーティングシステムを車での移動に使用することは禁じられています。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## N. シートと背面クッション

### ⚠ 警告

1. シートと背面の布が傷んだり破れたりしたら、速やかに交換してください。これを怠ると、シートや背面の機能が損なわれることがあります。
2. スリングの生地は年月や使用により劣化します。生地、特に角や縫い目にほころびや薄くなっている部分、伸びがないか確認します。
3. 車椅子から「滑り降りる」と生地が傷み、シートの検査や交換が必要となる頻度が高くなります。
4. 洗浄や過度の湿り気は生地の難燃性を低下させます。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## O. 張力調整式バックサポート

### ⚠ 警告

張力調整式バックサポートは、標準の車椅子背面クッションの代わりに使用できる汎用バックサポートです。シンプルで快適かつ効果的にサポートして機能を最大限に生かし坐位耐久力を高めるように設計されています。また、軽量で耐久性が高く、簡単に使えます。

Sunrise Medical では、シーティングや姿勢に関する経験の豊富な医師やセラピストなどの医療従事者に、張力調整式バックサポートの使用が適切かどうかを相談することを推奨しています。バックサポートシステムの取り付けは、かならず Sunrise Medical 販売代理店のみが行うようにしてください。

**使用者の最大重量は 300lb です。(136kg)**

### ⚠ 警告

車椅子にバックサポートシステムを取り付けると、車椅子の車軸初期設定に影響することがあり、車椅子が後方に転倒したり、その結果負傷したりする場合があります。

車椅子の安定性を高めるため、転倒防止装置の取り付けが必要となる可能性について常に検討してください。

### ⚠ 警告

張力調整式バックサポートを使って車椅子を押ししたり持ち上げたりしないでください。

不適切な使用により、車いすから突然バックサポートが外れることがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## P. フリースタイルバックサポート (オプション)

### ⚠ 警告

フリースタイル調整式バックサポートは、車椅子の背面クッションの代わりに使用できる汎用バックサポートです。シンプルで快適かつ効果的にサポートして機能を最大限に生かし坐位耐久力を高めるように設計されています。また、軽量で耐久性が高く、簡単に使えます。

Sunrise Medical では、シーティングや姿勢に関する経験の豊富な医師やセラピストなどの医療従事者に、フリースタイルバックサポートの使用が適切かどうかを相談することを推奨しています。バックサポートの取り付けは、かならず Sunrise Medical 販売代理店のみが行うようにしてください。

**使用者の最大重量は 300lb です。(136kg)**

### ⚠ 警告

車椅子にバックサポートシステムを取り付けると、車椅子の車軸初期設定に影響することがあり、車椅子が後方に転倒したり、その結果負傷したりする場合があります。

車椅子の安定性を高めるため、転倒防止装置の取り付けが必要となる可能性について常に検討してください。

### ⚠ 警告

フリースタイル調整式バックサポートを使って車椅子を押ししたり持ち上げたりしないでください。不適切な使用により、車いすから突然バックサポートが外れることがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## Q. 角度調整可能な折りたたみ式バックサポート

### ⚠ 警告

バックサポートの角度調整は、安全で安定した位置でのみ行います。転倒したり不安定になったりする可能性が高まる場合があります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## R. シートの背面

### ⚠ 警告

シート背面の奥行を調整すると、支柱が使用者に接触して皮膚を傷つけたりその他重篤な怪我をさせるような位置になることがあります。

この警告に従わない場合、車椅子の損傷、転落や転倒、制御不能を招く恐れがあり、使用者や他の人が重篤な怪我を負う恐れがあります。

## S. バックサポート - 補強バー

### ⚠ 警告

バックサポートの補強バーに過度の衝撃や力が加わると、補強バーやリリースパー、バックサポートの劣化や故障を招く恐れがあります。

## VIII.使用方法とメンテナンス

### ⚠ 警告

この車椅子を所有される方は、車椅子の設定と調整は必ず、医療従事者の助言のもとに、訓練された整備の専門職員が行うようにする責任を負っています。車椅子には定期的な安全と機能のチェックや、一定の使用時調整が必要となることがあります。これは、所有者、介助者、または必要に応じて販売代理店が行えます。車椅子の整備に使用する部品やアクセサリは常に、Sunrise Medical が推奨するか認定しているものにしてください。

### A. 序

- 適切なメンテナンスは車椅子のパフォーマンスを向上させ、耐用年数を伸ばします。
- 車椅子は定期的に清掃してください。これにより、ゆるんだり傷んだりしている部品を見つけることができ、車椅子が使いやすくなります。薄めた中性洗剤と十分な量の雑巾を用意します。
- 車椅子を使用する前に**、ゆるんだり、劣化したり、曲がったり、損傷したりしている部品を交換します。
- お金を無駄にしないために、大きなメンテナンスや修理はすべて、担当の販売代理店に依頼してください。
- 安全チェックリストに厳格に従って、車椅子を検査し維持してください。**
- 問題があれば、使用する前に、担当の販売代理店に部品を注文したり、整備をしてもらったり、修理をしてもらいます。**
- 少なくとも1年に1度は、販売代理店による完全な検査、安全確認、整備を受けてください。**

### B. 重要な安全確認

- タイヤ空気圧：**  
1週間に1度は標準空気入りタイヤの空気圧をチェックします。タイヤ側面に記載されている空気圧を保っていないと、ブレーキが正常に効かなくなります。
- 車軸と車軸スリーブ：**  
半年に1度車軸と車軸スリーブを確認し、清潔でしっかり締まっていることを確認します。スリーブが緩んでいると車軸プレートが損傷し、パフォーマンスに影響します。
- キャンパーチューブとキャンパープラグ**  
半年に1度キャンパーチューブとキャンパープラグを検査し、すべての留め具がしっかり締まっており、元の位置からずれている部品がないことを確認します。

### C. 清掃

- 塗装面**
  - 1か月に1度は中性洗剤で塗装面を清掃します。
  - 3か月に1度、研磨剤の入っていない車用ワックスで塗装面をコーティングします。
- 車軸と可動部品**
  - 1週間に1度、固く絞った布で車軸と可動部品の周辺を清掃します。
  - 車軸と可動部品についた綿埃や埃、泥などを拭き取ります。
- クッション**
  - 手洗います（洗濯機で洗うと生地を傷めることがあります）。
  - 絞らずに乾かします。乾燥機にかけると生地を傷めることがありますので、おやめください。
- 基本的なメンテナンス用品をお近くのお店でお求め頂けます**
  - タイヤポンプ
  - 空気圧系
  - 清掃用雑巾または木綿布
  - テフロン潤滑剤
  - 中性洗剤

**メモ** - 車椅子にはグリスを塗ったり油をさしたりする必要はありません。

### D. 安全チェックリスト

毎週	3か月ごと	6か月ごと	毎年	安全と機能の確認
<input checked="" type="checkbox"/>				タイヤの空気圧レベル
<input checked="" type="checkbox"/>				ブレーキ
	<input checked="" type="checkbox"/>			ゆるんでいる部品の目視確認
		<input checked="" type="checkbox"/>		アームレスト
		<input checked="" type="checkbox"/>		車軸と車軸スリーブ
	<input checked="" type="checkbox"/>			クイックリリース車軸
	<input checked="" type="checkbox"/>			ホイール、タイヤ、スポーク
	<input checked="" type="checkbox"/>			キャスター
	<input checked="" type="checkbox"/>			転倒防止チューブ
		<input checked="" type="checkbox"/>		フレーム、キャンパーチューブ、クロスブレース
	<input checked="" type="checkbox"/>			クッション
			<input checked="" type="checkbox"/>	販売代理店による整備

メモ - 使用者または介助者は必ずこれらの週次や月次チェックを行って、車椅子の安全性を維持してください。正常に機能していないものがあれば、担当の販売代理店に連絡してください。

### E. トラブルシューティングチャート

症状						解決方法
車椅子での左折	車椅子での右折	車椅子からのずれ	ターンの遅れ	軋みやがたつき	キャスターのフ	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			標準空気入りタイヤの場合、後輪と前部キャスターの空気圧が正しく、両輪のバランスがとれていることを確認します。
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	すべてのボルトとナットがしっかり締まっていることを確認します。
		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		すべてのスポークとニップルがラジアルスポークホイールにしっかり固定されていることを確認します。
				<input checked="" type="checkbox"/>		トリフロー潤滑剤 (Teflon® ベース) をフレームの接続部や部品に塗ります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	キャスターフォークの調整が正しく行われていることを確認します。詳細はキャスターフォークの調整に関する指示をお読みください。

## F. 後輪の取り付けと取り外し 11 12

### 警告

クイックリリース式車軸が両方もロックされていることを確認するまでは、車椅子を使用しないでください。車軸がロックされていないと使用中に外れて、転落する恐れがあります。

**メモ** - 作業台やテーブルなど、平らな場所に車椅子置くと作業をしやすくなります。

#### 1. ホイールの取り付け

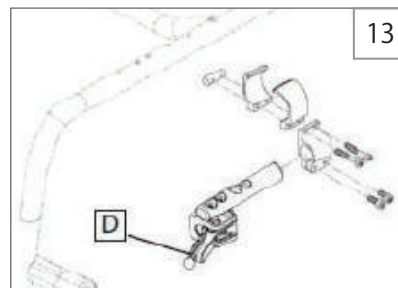
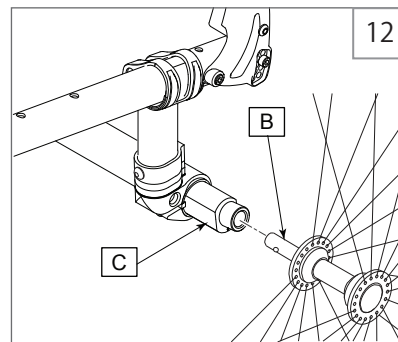
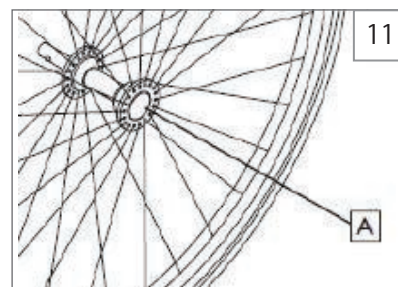
- クイックリリースボタン (A) を完全に押し下げます。
- 後輪のハブごしに車軸 (B) を差し込みます。
- ボタン (A) を押し下げたまま車軸 (B) をキャンパープラグ (C) に差し込みます。
- ボタンを離して、車軸をキャンパープラグにロックします。
- もう一方にも同じことをします。

**メモ** : 車軸が正常にロックしない場合、Sunrise Medical の販売代理店による整備が必要です。IX:D を参照してください。

#### 2. ホイールの取り外し

- クイックリリースボタン (A) を完全に押し下げます。
- 車軸 (B) を完全にキャンパープラグ (C) から抜いてホイールを取り外します。
- もう一方にも同じことをします。

**メモ** - 車軸はクイックリリースボタンが (A) 完全に飛び出すまではロックされません。ホイールを車軸の方向に引っばって、車軸がロックされていることを確認します。



## G. ブレーキ 13

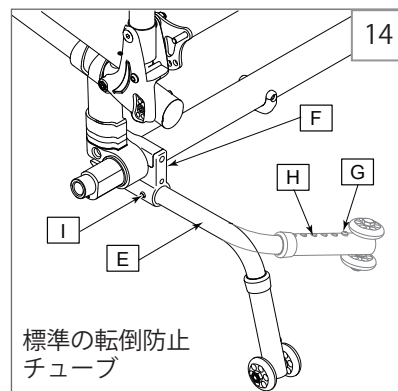
### 警告

ブレーキは Sunrise が取り付けしており、調整は担当の Sunrise Medical の販売代理店が行います。

メンテナンスチャートにしたがって週に一度ブレーキを点検します。ブレーキが両方もかかることを確認するまでは、車椅子を使用しないでください。ブレーキが正常に調整されていないと、予期しない時に車椅子が動き出したリターンしたりすることがあります。

ブレーキの調整は、タイヤの空気圧が適正であることを確認してから行う必要があります。しっかりとブレーキをかけたときに、アーム (D) がタイヤに少なくとも 1/8 インチ (0.32cm) 食い込んでいなければ効果を得られません。

ブレーキが滑っていたり、正しく効いていない場合は、担当の Sunrise Medical の販売代理店に連絡して、調整を依頼して下さい。



## H. 転倒防止 14 15

Sunrise Medical では、すべての車椅子に転倒防止チューブの使用を推奨しています。

#### 1. 転倒防止チューブを受けに挿入する

- 転倒防止チューブにある後部転倒防止リリースボタン (I) を押しすと、双方のリリースピンが中に入ります。
- 転倒防止チューブ (E) を転倒防止チューブ受け (F) に挿入します。
- 転倒防止チューブを、リリースピンが受けの固定穴に通るまで下向き回します。
- 同じように、2つ目の転倒防止チューブを挿入します。

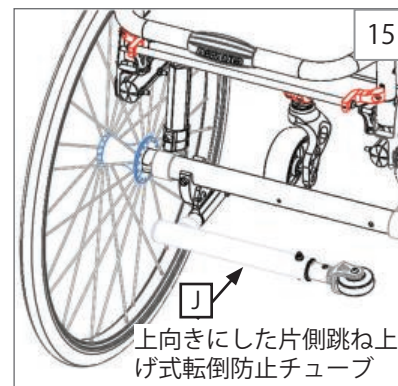
#### 2. 転倒防止チューブのホイールの調整

転倒防止チューブのホイールは、適正な 1½ ~ 2 インチ (3.81 ~ 5.08cm) の隙間があくように上下させることが必要な場合があります。

転倒防止リリースボタン (G) を押しして、双方のリリースピンを中に入れます。上下させて、5つある穴 (H) の1つにはめます。ボタンを離します。同じように、2つ目の転倒防止チューブのホイールを調整します。2つのホイールの高さは同じでなければなりません。

#### 3. 転倒防止チューブを跳ね上げる (標準の転倒防止チューブ)

付添人が車椅子を押したり、障害物を乗り越えたり縁石を上がつたりする場合は、転倒防止チューブを跳ね上げます。後部転倒防止リリースボタン (I) を押しします。レバーを押さえて、転倒防止チューブを上向きにします。レバーを放し、2つ目の転倒防止チューブに同じことをします。目的の動作を終えたら、忘れずに転倒防止チューブを下向きに戻します。





## VIII.使用方法とメンテナンス

## 4. 転倒防止チューブを跳ね上げる (片側跳ね上げ式転倒防止チューブ)

片側跳ね上げ式転倒防止チューブを上向きにするには、転倒防止チューブ (J) の上部を車椅子の前側に強く押します。強く押してロックピンを解除し、そのまま転倒防止チューブ (J) を車椅子の中央方向に 90° 回して、ロックピンを所定の位置にはめ込みます。

## I. 高さ調整可能な単一支柱式アームレスト (オプション) 16

Sunrise Medical では、タイプの異なるアームレストを複数提供しています。アームレストには、固定式、スウィングアウェイ式、跳ね上げ式があります。

スウィングアウェイ式のアームレストは、取り外すか、横に回転させて、横方向に乗り降りできます。高さも調節できます (1 インチ (2.54cm) 単位)。

## 1. 基本的な取り付け方法

a. アウターアームポスト (1) を、車椅子のフレームに取り付けられている受け (7) に差し込みます。

b. アームレストを所定の位置に固定します。

## 2. 高さの調整

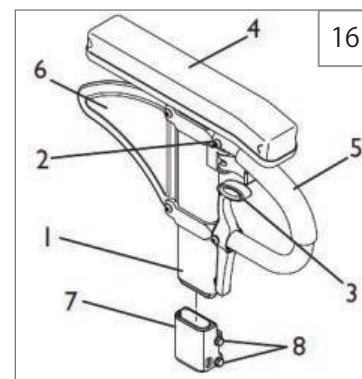
a. 上部の固定レバーを開放します。(2)

b. アームパッド (4) を好みの位置まで上下させます。

c. レバー (2) をロック位置に戻します。

## 3. アームレストの取り外し

a. リリースレバー (3) を強く握って、アームレストを受け (7) から抜きます。



1. アウターアームポスト
2. 高さ調整リリースレバー
3. リリースレバー
4. アームレストパッド
5. 乗り降りレバー
6. サイドパネル
7. 受け
8. 受けの調整器機

## J. クッション付きスウィングアウェイアームレスト (オプション) 17

## 1. 取り付け

a. アームレストの高さは調整ボルト (A) の位置で決まります。

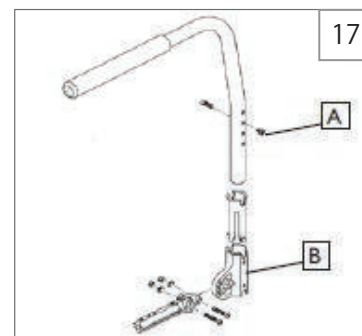
b. アームレストを後部フレームにある受け口 (B) に入れ、調整ボルトが受け口のスロットにしっかりと収まる (固定される) まで差し込みます。

## 2. スウィングアウェイ

a. アームレストをロック位置から引き上げて外し、横に回転させます。

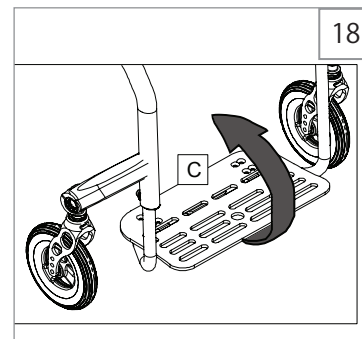
## 3. アームレストの取り外し

a. アームレストを受けからまっすぐに引き抜きます。



## K. 跳ね上げ式フットプレート (オプション) 18

フットプレート (C) は、乗り降りや調整の際に、使用者のほうへ跳ね上げることができます。



## L. フリースタイルバックサポート (オプション) 19

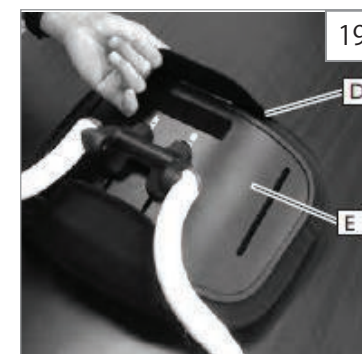
## 背もたれクッションの取り付け

a. 背もたれクッション (D) で、図のように背面のシェルを包むことができます。

b. マジックテープでクッションを固定します。

## ⚠ 警告

担当の Sunrise Medical 販売代理店により定期メンテナンスが行われる際に、セクション IX-N で指定されているトルクで背もたれの部品が締められていることを確認してください。調整時に指定されているトルクで固定されていることが確認できるまでは、この車椅子を使用しないでください。



## M. バックサポートの角度の性能 20 21

### バックサポートの角度調整

1. 車椅子に使用者が乗っていない状態で、4mmの六角レンチを使ってボルト (A) を左右のバックサポートのブラケットから外します。(図 20)
2. バックサポートのブラケットにはそれぞれ複数の穴が開いており、異なるバックサポート角度を選べるようになっています。角度を決めたら、ボルト (A) をバックサポートのブラケットの新しい穴に取り付けます。4mmの六角レンチと8mmの六角レンチで両方のボルトを5 Nm (44 インチポンド) のトルクで締めます。

### バックサポートの折りたたみと展開

1. リリースバーを引き上げてバックサポートを開放し、背もたれを倒します。(B) (図 21)
2. バックサポートを戻すには、背もたれが立った状態でロックされるまでバックサポートの補強バーを引きます。また、別の方法 (オプション) でも、バックサポートの折りたたみと展開を行えます。車椅子にこのオプションがついている場合、補強バーの中央にあるグリップ (C) を手前に回すことで、バックサポートの折りたたみと展開を行えます。(図 21)



### 警告

#### 補強バーの使用

メモ: バックサポートの補強バーに過度の衝撃や力が加わると、補強バーやリリースバー、バックサポートの劣化や故障を招く恐れがあります。背もたれを起こす際に、補強バーのハンドル (C) やリリースバー (B) が何かに触れたりこすれたりするとふいに背もたれが倒れることがありますので、注意してください。(図 21)

## N. 張力調整式背布 22 23 24 25

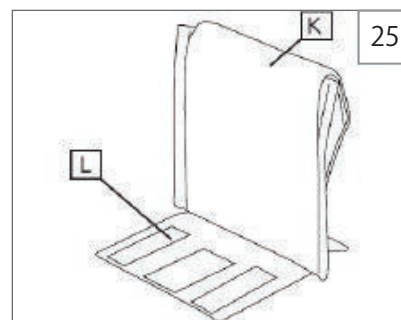
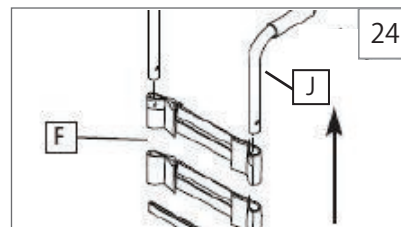
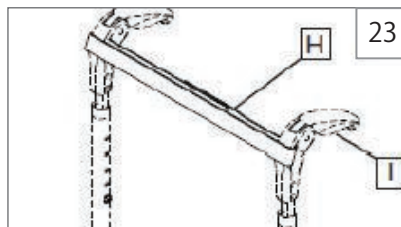
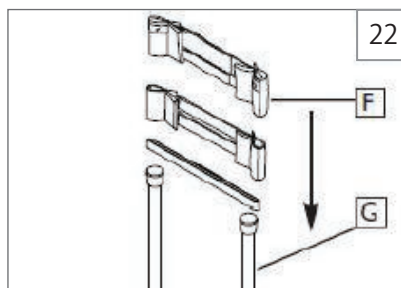
### 標準の張力調整式背布の取り付け方法

1. バックサポートフレーム (G) にマジックテープのストラップ (F) を差し込みます。補強バーの下にストラップが1本以上来るようにしてください (固定式の車椅子の場合)。
2. 目的の張り具合になるまで、ストラップを適切に締めます。決して、ストラップを強く締めすぎないでください。バックサポートフレーム (G) に過度な張力がかかります。
3. 折りたたみ式のプッシュハンドルを使用している場合、マジックテープのストラップ (F) をプッシュハンドルの前部にあるスロットに差し込みます。一体型プッシュハンドルを使用している場合、バックサポートの下からストラップを通して上に引き上げます。
4. バックサポートカバーを希望の位置に取り付け、マジックテープのストラップ (K) の後ろ側に折りたたみます。車椅子の背後の Quickie パッチが上向きになるようにします。
5. 最後に、シートスリング上のマジックテープの上にバニティフラップ (センターパネル) を置いて動かないように固定します (L)。



### 警告

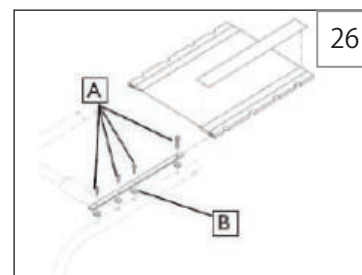
ストラップに対する変更は、どのようなものでも重心に影響を及ぼします。行った調整に使用者が慣れるまでは、付添人が車椅子の背後にいて車椅子が後ろに転倒しないようにするのが理想的です。



## VIII.使用方法とメンテナンス

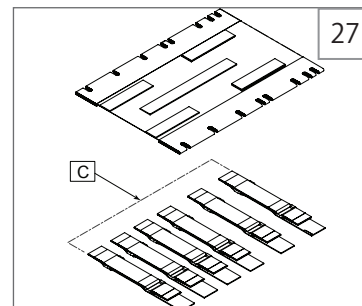
## O. シートスリングの調整 26

シートスリングの左側を固定しているねじ (A) を外します。マジックテープスタイルの素材を再調整して、シートスリングの張力を増します。ねじを元に戻します。ねじを戻しにくい場合は、探針を使って穴を合わせてみてください。プラスチックの台 (B) がシートレールの下留め具の位置すべてにあることを確認します。



## P. 張力調整式シートスリング 27

張力調整式シートスリングは取り外すことができます。まず、車椅子のフレームに巻き付けられているマジックテープのストラップ (C) を緩めます。すべてのストラップは再度、元の設定と同じ位置に同じ数だけ付ける必要があります。



## Q. クッションの取り付け方法

クッションを、マジックテープが付いた方を下にしてシートスリングの上に置きます。クッションの勾配のついていない部分が前になっている必要があります。しっかり押さえて固定します。

## R. 収納のヒント

1. 車椅子は清潔で乾燥した場所にしまってください。これを怠ると、部品が錆びたり腐食したりすることがあります。
2. 車椅子の使用前には、正常に機能することを確認してください。
3. 「メンテナンスチャート」のすべての項目について、検査と整備を行います。
4. 3 か月以上しまっていた場合は、使用前に販売代理店による検査を受けてください。

## S. LED とバッテリーパック 28 29 30 31 32

ライトのスイッチをオンにする：コントロールボックス（図 28）の上部にあるボタン A を押します。LED の動作モードは次の順番で切り替わっていきます：

1. フルパワーモード
2. 省電力モード
3. 点滅モード
4. オフ

バッテリーの充電状態はバックライト付きのボタン A に示されます：

- ・ 赤：充電状態 50% 未満
- ・ 赤（バッテリーが充電器に接続されている場合）：バッテリー充電中
- ・ 緑（バッテリーが充電器に接続されている場合）：バッテリー充電完了

充電する際はコントロールボックスをふくらはぎ部分のストラップから取り外します：そっとピンを引っ張って側面のケーブルをコネクタ (C) から外します。コントロールボックスを上を持ち上げて、ふくらはぎ部分のストラップから取り外します。

バッテリーを充電します：USB ケーブルをコントロールボックスの前面にあるコネクタ (B) に接続します。標準の USB 充電器かコンピュータの USB ポートを使用してバッテリーを充電します。バッテリーが完全に充電されると、緑のライトが点灯します。

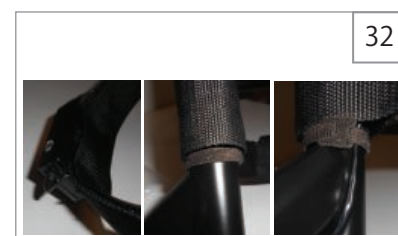
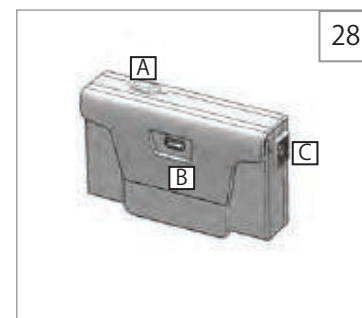
バッテリーの仕様	
バッテリーのタイプ	リチウムイオン
通常の容量	2600mAh
通常の電圧	3.6V
充電時間	3 時間

バッテリーのチェック

- ・ LED を初めて使用する前に、バッテリーを 24 時間充電してください。
- ・ バッテリーが十分に充電されているか確認します。バッテリーの充電状態を示すライトが緑になっていることが必要です。

車椅子への取り付け：

1. ふくらはぎ部分のストラップを車椅子に取り付けます。
2. LED ライト表面のべたつきを LOCTITE® SF7063 で取り除きます。
3. LED ライトのねじの位置を決め、押しつけて、ねじ止めし、ケーブルをフレームに沿わせませず（図 29）。
4. 写真（図 30）に示すようにケーブルをふくらはぎ部分のストラップの中に通します。
5. ふくらはぎ部分のストラップの後ろ側にカバーを取り付け、縫い目のすぐ右側の端（図 31）を切って短くします。
6. バッテリーパックをふくらはぎ部分のストラップに止めてプラグを取り付け、残りのケーブルをふくらはぎ部分のストラップに通してケーブル止めで固定します。



## T. 確認

車椅子を組み立てて調整したら、なめらかかつ軽く動くはず。すべてのアクセサリもスムーズに機能するはず。問題があれば、次の手順に従ってください：

1. 設定と確認のセクションと操作ガイドを見直し、車椅子が正しく準備されていることを確認します。
2. このセクションの冒頭にあるトラブルシューティングチャートを確認します。
3. 問題が続く場合は、担当の販売代理店に連絡してください。担当の販売代理店に連絡しても問題が解決しない場合は、Sunrise Medical のカスタマーサービスに連絡してください。担当の販売代理店や Sunrise Medical のカスタマーサービスに連絡する方法は、「序」を参照してください。

## IX.販売店による整備と調整

**警告**

この車椅子を所有される方は、車椅子の設定と調整は必ず、医療従事者の助言のもとに、訓練された整備の専門職員が行うようにする責任を負っています。整備と調整は必ず、医療従事者の助言にしたがって行ってください。

車椅子の整備に使用する部品やアクセサリは常に、Sunrise Medical が推奨し認定しているものにしてください。

**A. 販売店による整備について** 33

1. この車椅子は、少なくとも1年に1度、販売代理店による完全な検査、安全確認、標準の整備を受けてください。右に示す工具のリストは、適切なメンテナンスの出発点となるものです。
2. 劣化したり、曲がったり、損傷したりしている部品を見つけたら、車椅子を整備に出す前に、修理したり、推奨されている部品に交換したりします。
3. 大きなメンテナンスや修理は販売代理店が行う必要があります。

**B. 重要なメンテナンスのヒント**

1. トルクの設定：
 

特定の留め具についてはトルクを設定して適切な力で締める必要があります。指定されているトルクに設定することが重要です。特に指定がない場合は、6.78Nm (60 インチポンド) に設定します。
2. 販売店による整備と調整についての資料：
 

お使いの Quickie 車椅子の修理に役立つ部品マニュアル、手順シート、手順ビデオは、www.sunrisemedical.com を参照してください。

**C. 清掃**

1. 塗装面
  - a. 中性洗剤で塗装面を清掃します。
  - b. 研磨剤の入っていない車用ワックスで塗装面をコーティングします。
2. 車軸と可動部品
  - a. 固く絞った布で車軸と可動部品の周辺を清掃します。
  - b. 車軸と可動部品についた綿埃や埃、泥などを拭き取ります。
  - c. 3-in-ONE オイルや WD-40® を潤滑油として使用しないでください。この車椅子の整備には、Teflon® (テフロン) ベースの潤滑油のみを使用します。

**D. 後輪車軸ナットの調整** 34 35

後輪車軸(B)は後輪(D)をキャンバープラグ(C)に接続しています。戻り止めボール(E)がキャンバープラグにはまっていれば、後輪は車椅子にきちんとロックされます。クイックリリースボタン(A)を押すと戻り止めボールが外れ、車軸と車輪を一体のまま取り外せます。

車軸を調整するには、3/4 インチ(1.905)のレンチで調整ナット(F)を回します。また、車軸の端についている戻り止めボールが回らないように固定するために、1/2インチ(1.27cm)のレンチも必要です。

車輪と車軸がキャンバープラグにロックされない場合、車軸を調整する必要があります。ナットを反時計回りに約1/4回転させ、車軸をキャンバープラグにロックします。ロックされない場合は、しっかりロックされるまで、さらにナットを微調整します。

車輪が車椅子にロックされても余分な遊びがある場合(車輪のハブが車軸上で前後に動いてしまう場合)、車輪とキャンバーチューブの間に明らかな隙間がなくなり、車軸が車椅子にしっかりロックされるまで、ナットを時計回りに調整します。

**E. 転倒防止チューブの受け** 36

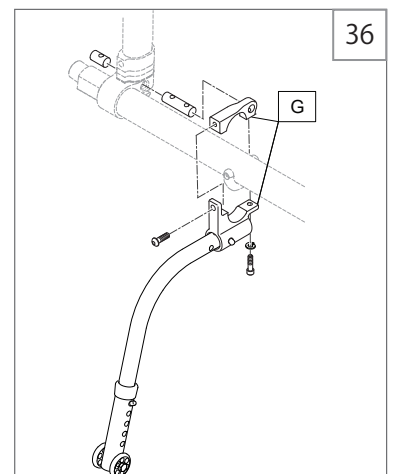
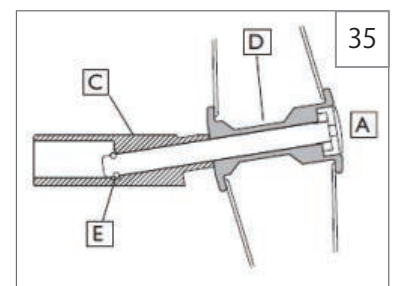
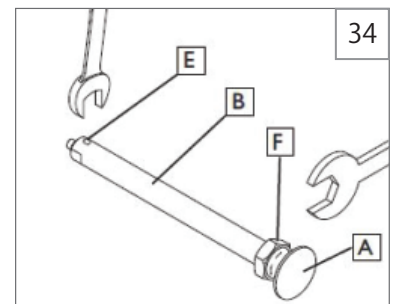
Sunrise Medical では、すべての車椅子に転倒防止チューブの使用を推奨しています。

- a. 転倒防止チューブの受け(G)を取り付けたら、受けが地表と並行になっておりボルトがしっかりと締まっていることを確認します。これは、転倒防止チューブが使用時に動いてしまわないようにするためです。
- b. 使用前に、ガイド/ロックピンがはまっていることを確認します。



## 必要な工具

1. インチ規格の六角レンチセット
2. ミリ規格の六角レンチセット
3. インチ規格の両口スパナセット
4. ミリ規格の両口スパナセット
5. トルクレンチ
6. インチ規格のヘキサゴンビットソケットセット
7. ミリ規格のヘキサゴンビットソケットセット
8. プラスとマイナスのドライバ
9. タイヤ空気圧ゲージ



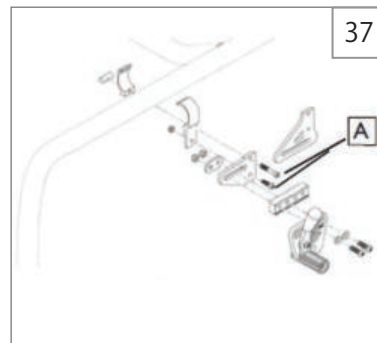
**F. ブレーキ** 37 38

Quickie NITRUM 車椅子にはさまざまなブレーキが搭載されています。次にそのいくつかをご紹介します。ブレーキは、使用者からのご要望が特になければ、工場に取り付けられます。

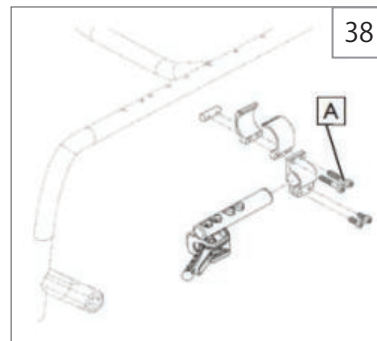
ブレーキ設定時のトルクは、7Nm (62 インチポンド) に設定します。

**1. ハイマウント押し込みロック式ブレーキの調整** 37

- 4mm の六角レンチでクランプのねじ (A) のいずれかを反時計回りに 1/4 回転させます。
- 残りのねじ (A) すべてに同じことを繰り返します。
- ねじを互い違いに回し (2 回転ずつ)、両方ともすっきり緩めます。
- ロック位置にあるときにブレーキがタイヤに食い込んで車輪が回らなくなるまで、クランプを後輪のほうへスライドさせます。
- ねじを 7Nm (62 インチポンド) で締めます。

**2. コンパクトブレーキ** 38

- 4mm の六角レンチでクランプのねじ (A) のいずれかを反時計回りに 1/4 回転させます。
- 残り 3 本のねじ (A) すべてに同じことを繰り返します。
- ねじを互い違いに回し (2 回転ずつ)、両方ともすっきり緩めます。
- ロック位置にあるときにブレーキがタイヤに食い込んで車輪が回らなくなるまで、クランプを後輪のほうへスライドさせます。
- 角度を調整します。
- ねじを 7Nm (62 インチポンド) で締めます。



メモ - クランプとブレーキはフレームのチューブをよけるために回転させる必要があるかもしれません。

**G. アームレストの受けの取り付け** 39 40

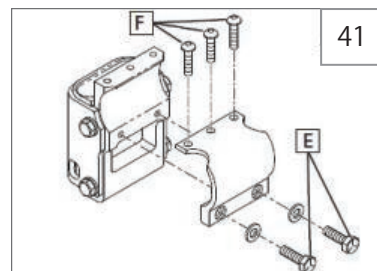
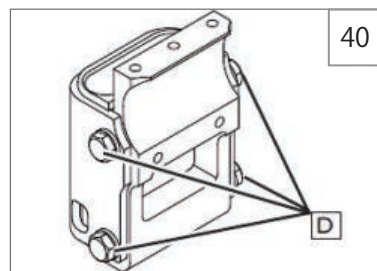
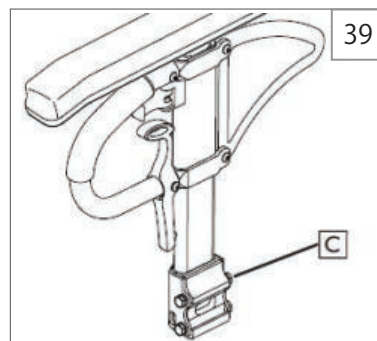
アームレストの受けのフィッティング調整

受け (C) に対するアウターアームポストのフィッティングをきつくしたりゆるめたりするには:

- 受けの側面に付いている 4 つの調整ボルト (D) を緩めます。
- 受け (C) にアームレストを取り付けた状態で、希望するフィット感が得られるまで受けを締めます。
- ボルト (D) を 16.3Nm (144 インチポンド) で締めます。

**位置の調整** 41

- クランプの 2 本のボルト (E) をすっきり緩めます。
- アームレストの受けを希望する位置までスライドさせます。
- 両方のボルト (E と F) を 7Nm (62 インチポンド) で締めます。



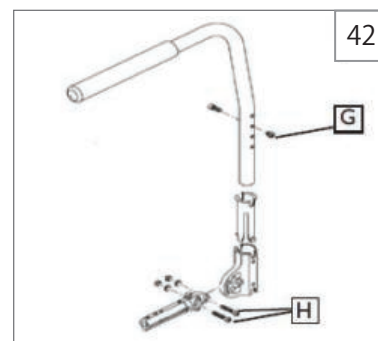
## IX.販売店による整備と調整

## H. クッション付きスウィングアウェイアームレスト (オプション) 42

スウィングアウェイ式のアームレストは、取り外すか、横に回転させて、横方向に乗り降りできます。アームレストの高さは、

アームレストにあけられている穴を使ってボルト (G) を上下に動かすことにより調節できます (1 インチ (2.54cm) 単位で最大 6 インチ (15.24cm))。

1. 高さの調整
  - a. アームレストを受けからまっすぐに引き抜きます。
  - b. インデックスボルト (G) を抜いて、希望する位置の穴に移動させます。
  - c. さらに調整が必要な場合、ブラケットを反転させて再度取り付けます。
  - d. 部品を 7Nm (62 インチポンド) で締めます。
2. 角度の調整
  - a. アームレストの角度を調整するには、ボルト (H) を抜きます。
  - b. 希望する角度に調整し、部品を再度取り付けます。
  - c. 部品を 7Nm (62 インチポンド) で締めます。



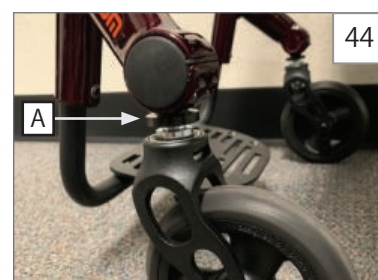
## I. キャスター 43 44

メモ - 車椅子を平らなテーブルや作業台に載せて作業すると、設定をより正確に行えます。

1. 車椅子の進み方を右または左に補正する
 

車椅子がどちら (右または左) に偏って進んでいるかを確認します。車椅子の側面にあるキャスターを次のように調整します。

  - a. 片方または両方のフォークステムの長さを調整する必要があります。(図 43)
  - b. 車椅子が右に偏って進む場合、右のフォークステムを伸ばす必要があります。車椅子が左に偏って進む場合、左のフォークステムを伸ばす必要があります。偏りがみられる方は一般に他方より接地面が少なく、そちら側のキャスターホイールが浮いてしまっていることもあります。
  - c. この調整を行うには、特殊な工具 (トルクレンチ 部品番号 66009203) を 3/8 インチ (0.95cm) トルクレンチに差し込みます。フォークステム (A) の薄ナットを緩めます。必要に応じて、スパナレンチ工具 (部品番号 66009205) を使ってキャスターステムの長さを調整します。調整が済んだら、薄ナット (A) を 28Nm (20.65 フィートポンド) で締めます。(図 44)



## J. キャスターフォークの調整 45 46

キャスターフォークの角度、進行方向の安定性、高さの調整：

キャスターフォークの調整には3つの設定項目があります：キャスターフォークの角度、進行方向の安定性、高さです。進行方向の安定性は次の組み合わせによって決まります：やや角度がついたキャスター軸 (A) のねじれ (図 45)、フォークが内側に動く (B) か、外側に動く (C) か (図 46)。同時に、キャスター軸が1回転することにより、フォークの高さが1mm変わります。

この調整に関する詳細については、次のセクションで説明します。

メモ：次の調整は Sunrise Medical の販売代理店のみが行えます。

メモ：この整備の動画を Sunrise Medical の YouTube チャンネルでご覧いただけます。

### 警告

調整が不完全だったり、正しく行われなかったりした場合、車椅子が損傷したり、転落して使用者や他の人が重篤な怪我を負ったりする恐れがあります。

トルクの設定が指定されている場合は常にトルクレンチ (同梱されていません) を使用して正しいトルクがかかっていることを確認することを強くお勧めします。

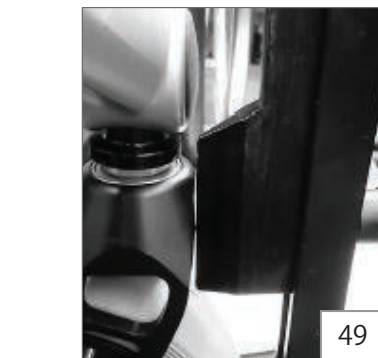
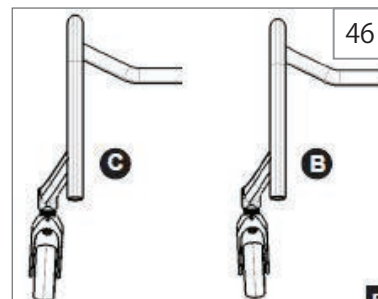
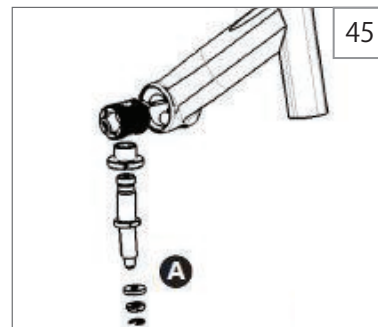
制作時に使用されるねじの中には、ねじロックが付けられているものがあります (青または黄色の点がねじ山についています)。これらは最大3回までしか緩めて締めなおすという操作ができず、その後は新しいねじとねじロックに交換することが必要です。あるいは、Loctite™ 243 ねじ固定剤を使用してねじを再度固定します。

### 1. 進行方向の安定性の設定： 47 48 49

- a. Sunrise Medical の特殊な工具 (トルクレンチ 部品番号 66009203) を 3/8 インチ (0.95cm) トルクレンチに差し込みます。
- b. フォークとキャスターの接合部分にある丸ナットをスパナレンチで緩めます (図 47)。
- c. キャスターを内側に回転させ、90°に設定したゲージをフォークの前面に置いたら、丸ナットとフォークの間にあるキャスター軸をフラットタイプの 19mm 両口スパナレンチ (部品番号 66009205) でしっかり掴み、フォークの前面が設定したゲージのレベルに達するまでフォークを回します (図 48 および図 49)。この操作は、誤って高さが変わってしまうように、一方向に最大 90°回転させて行います。
- d. 調整を終えたら、両口スパナでキャスター軸を所定の位置に固定しながら、丸ナットを 28Nm (20.65 フィートポンド) のトルクで締めます。



メモ：フォークの角度は調整が済んでから設定することが必要です (3: キャスターフォークの角度調整」を参照)。



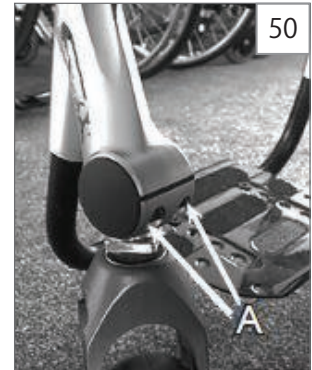


## IX.販売店による整備と調整

## 2. 高さの調整

車椅子の4輪がきちんと接地していない場合、たとえばキャスターの1つが完全に浮いている場合は、そのキャスターの高さを次のように調整することが必要です：

- 車椅子を平らな場所、たとえば作業台などに置きます。
- フットサポートにおよそ2.2lbs (1kg) の荷重をかけて、両駆動輪の空気圧が同じであることを確認し、両方のキャスターを回転させてまっすぐな位置（キャスターは後ろ向き）にします。
- 特殊な工具（トルクレンチ 部品番号 66009203）を 3/8 インチ (0.95cm) トルクレンチに差し込みます。
- フォークとキャスターの接合部分にある丸ナットをスパナレンチで緩めます。
- 丸ナットとフォークの間にあるキャスター軸をフラットタイプの 19mm 両口スパナレンチ（部品番号 66009205）でしっかり掴み、反時計回りに回します。完全に1回転（360°）させるごとにキャスターが1mm低くなります。
- キャスター軸を完全に1回転（360°）させる場合、進行方向の安定性には影響しません。それ以外の場合は、進行方向の安定性を再調整することが必要です。詳細は、「1. 進行方向の安定性の設定」を参照してください。
- 4つのキャスターホイールすべてがしっかりと接地するまで、キャスター軸を調整します。
- 調整を終えたら、両口スパナでキャスター軸を所定の位置に固定しながら、丸ナットを 28Nm (20.65 フィートポンド) のトルクで締めます。



## 3. キャスターフォークの角度調整 50 51

シートの高さや重心を変更した場合や、進行方向の安定性を調整した場合には、この調整が必要です。

**警告**

キャスターフォークの角度の調整に誤りがあると、キャスターがぐらつき、使用者が転落したり重篤な怪我を負ったりする恐れがあります。

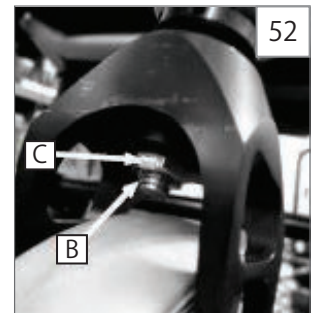
**メモ：**フォークを後傾（フォークが進行方向の後方に向かって傾斜していること）に設定すると、キャスターがぐらつきやすくなります。フォークを前傾（フォークが進行方向の前方に向かって傾斜していること）に設定すると、キャスターのぐらつきを低減できます。

六角ねじ (A) を緩めます (図 50)。これで、キャスターフォークの角度を前（前傾）または後（後傾）に調整できます。

キャスターフォークをまっすぐ（床面に対して 90°、前傾でも後傾でもない状態）にするには、直角のゲージ（90°の三角定規など）を使用します。キャスターを回転させて走行時の位置にし、フォーク前面の平らな部分に直角のゲージ置きます (図 51)。直角のゲージが表面全体に触れていれば、キャスターフォークは床面に対して 90°になっています。

キャスターフォークががたつかないようにやや前傾させるには、角度をつけて、直角のゲージとの間にわずかな隙間があくようにします。

正しい位置に設定できたら、六角ねじ (A) を次の手順で締めなおします。まず外側の六角ねじを 7Nm (62 インチポンド) のトルクで締めます。次に、内側の六角ねじを 7Nm (62 インチポンド) のトルクで締めます。この作業を、両方の六角ねじが同じように 7Nm (62 インチポンド) のトルクで締まるまで、最大 6 回繰り返します。



## 4. キャスターフォークの交換 52

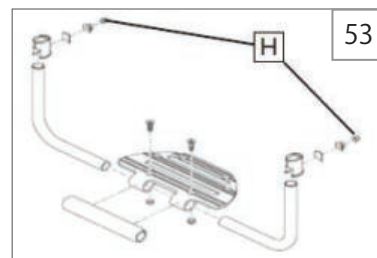
- キャスター軸の下端にあるロッククリップ (B) を取り外します。
- ナット (C) を 13mm の両口スパナで外します。
- フォークを交換します。
- 逆の手順で取り付けます。
- ナット (C) を 10Nm (88.51 インチポンド) のトルクで締めます。

## K. フットサポートの高さ調整 53 54 55 56

### ⚠ 警告

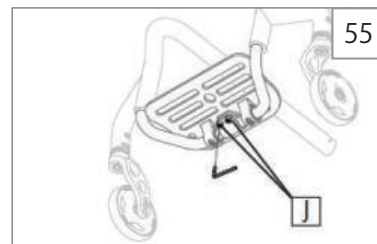
フットサポートはフレームの不可欠な一部です。フットサポートなしで車椅子に乗らないでください。

フットサポートの高さを調整するには、フットサポートの支柱の両側にあるねじ(H)を緩めます。フットサポートを上下にスライドさせて望する位置に移動し、2本のねじを締めます。最大トルクを7Nm (62インチポンド)に設定します(締めすぎるとフレームを損傷することがあります)。フットサポートの最下部と床面との間隔(I)を2.0インチ(5cm)以上に保つことを推奨します。これにより、地面にでこぼこがあっても十分な空間を保つことができ、フットサポートが損傷することを防げます。



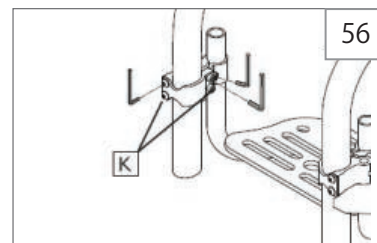
### 1. 跳ね上げ式フットサポート 55

跳ね上げ式フットサポートの角度を調整するには、2本のボルト(J)を緩めてフットサポートの角度抑制ブラケットを回転させます。位置が決まったら、ボルト(J)を10.39Nm(144インチポンド)で締めます。一定以下の幅しかない場合、ボルトが1本しかないことがあります。



### 2. ハイマウントフットサポートのマウント 56

- 車椅子の両側にある4つのソケットヘッド(K)すべてを緩めます。
- フットサポートを希望する位置までスライドさせます。
- 両側のソケットを7Nm(62インチポンド)で締めます。

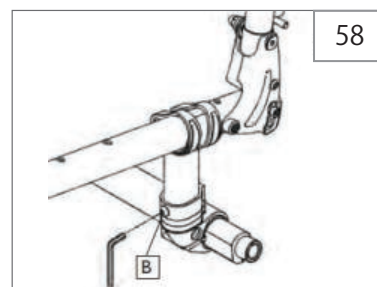
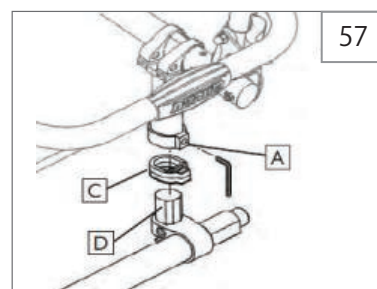


## L. 後座高の調整 57 58

メモ - 後座高の調整をする際には、キャスター角度の調整も必要となることがあります。詳細はセクションIX-Pを参照してください。

メモ - 車椅子が1B車軸プレートを使って構成されている場合、後座高を1/2インチ(1.27cm)単位で下げるためには短いキャンバーチューブクランプが必要となることがあります。1A車軸プレートを使って構成されている場合は後座高を下げることはできず、上げるためには長いキャンバーチューブクランプが必要です。

- 車軸プレートの下部にあるセットビス(A)と前部にある丸ねじ(B)を抜き取ります。
- 床面からシートまでの高さを増すには、スペーサー(C)をキャンバーチューブクランプ(D)に追加します。
- 床面からシートまでの高さを減らすには、スペーサー(C)をキャンバーチューブクランプ(D)から除去します。
- スペーサーの使用は片側につき2つまでにしてください。完了したら、キャンバーシステム(D)を車軸プレートに挿入します。まず左側の六角ねじを7Nm(62インチポンド)のトルクで締めます。次に、右側の六角ねじを7Nm(62インチポンド)のトルクで締めます。この作業を、両方の六角ねじが同じように締まるまで、最大6回繰り返します。



## IX.販売店による整備と調整

## M. バックサポート 59 60 61

## 1. 角度調整式バックサポート

バックサポートの両側のチューブから六角ねじ (A) を抜きます。穴のパターンの範囲内で角度を調整し (穴1つにつき3° ずつ変わります)、両側に六角ねじ (A) を差し込んで5Nm (44.25 インチポンド) で締めます (図 59)。

## 2. 折りたたみ式バックサポート

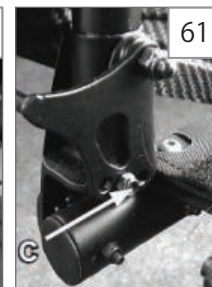
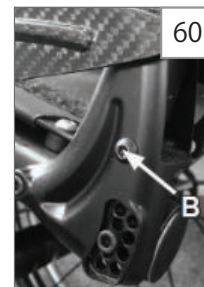
バックサポートを折りたたむことができ、2種類のリリース機構が用意されています。

- プッシュバーリリース: リリースバーを上を押して、そのままバックサポートを前に折りたたみます。
- ツイストロックリリース: クロスバーのハンドルを前方に回して、そのままバックサポートを前に折りたたみます。ハンドルは前方にのみ回転できます。

## 3. ダブルロックオプション

このオプションはバックサポートにのみ使用できます - 車椅子にダブルロックオプションが搭載されている場合、バックサポートが平らに折りたたんだ状態でロックされます。

- バックサポートを展開するには、プッシュバーを上方に押すか、ツイストロックハンドルを前方に回します。
- 折りたたんだバックサポートのロック位置 (角度) は調整できます: 両側の六角ねじ (B) を抜き (図 60)、穴のパターンの範囲内で対応する穴を選んで希望するロック角度に設定して (C) (図 61)、両側の六角ねじ (B) を5Nm (44.25 インチポンド) で締めます。



## N. フリースタイルバックサポートのメンテナンスと調整 62 63 64

## 1. 通常のメンテナンスを行う際には、フリースタイルバックサポートのトルクを確認してください。

- トルクレンチを使用し、必要に応じて部品 (E) (F) の確認と締めなおしを22.6Nm (200 インチポンド) で行い、バックサポートのシェルが所定の位置に固定されていることを確認します。

## 2. 高さ調整

- カバーと背もたれのパッドを取り、部品を調整できるようにします。
- 4mmの六角レンチで4本のねじ (G) を緩め、バックサポートのシェルを上下して希望する高さにします。(図 63) ねじを締めて固定します。
- 背もたれのパッドとカバーを元に戻します。

## 3. 奥行と高さの微調整

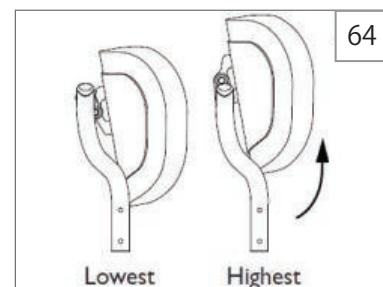
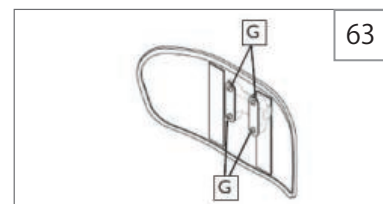
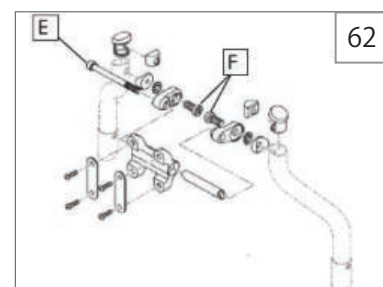
フリースタイルバックサポートの調整システムでは、最大1インチ (2.54cm) の奥行の微調整と最大1インチの高さの微調整を行えます。

- 8mmの六角レンチで2本のねじ (F) を緩め、バックサポートのシェルを希望の位置まで回転させます。
- ねじ (F) を22.6Nm (200 インチポンド) で締めて固定します。

## 4. 角度調整

フリースタイルバックサポートの調整システムでは、バックサポートの角度を調整して使用者の快適さや姿勢を向上できます。

- 8mmの六角レンチでねじ (E) を緩め、バックサポートを希望の位置まで回転させます。
- ねじ (E) を22.6Nm (200 インチポンド) で締めて固定します。



## 0.4 リンク式リアサスペンション 65

### ⚠ 警告

リアサスペンションは車椅子の安定性に影響することがあります。転落を防ぐには、補助者や転倒防止機構を

新しい器機に慣れるまで使用します。

#### 1. 4リンク式リアサスペンションの調整

- サスペンションを固めにするには、スプリングのプリロードアジャスター (A) を (車椅子の下側からサスペンションシステムを見て) 時計回りに回転させます。
- サスペンションを柔らかめにするには、スプリングのプリロードアジャスター (A) を (車椅子の下側からサスペンションシステムを見て) 反時計回りに回転させます。

#### 2. サスペンションリンクアームの調整

リンクアーム (B) の調整は行わないでください。これらは4リンク式リアサスペンションシステムが適切にトラッキングし機能するように工場で設定されています。

#### 3. トーをゼロに設定 66 67

キャンバークランプを固定しているキャップボルト (C) を緩めます (1辺につき3本、転倒防止機構がある場合は1辺につき4本)。水準器 (F) のボールを見ながら、キャンバークランプ (D) をボールが中心に来るまで回します。これで、トーがゼロに設定されました。

ねじ (C) を締める前に、キャンバークランプが車椅子のフレームを基準に水平方向の中央に位置しており、アウターキャンバークランプ下の平らな部分が左右に平行していることを確認します。キャンバークランプの先端はキャンバークランプの最も外側の部分と同一平面になっていることが必要です。留め具 (C) に 7Nm (62 インチポンド) のトルクをかけます。

#### 4. トーをゼロに設定 - 別の方法 65 66 67

車椅子全体を平らで水平な台や地面に置きます。キャンバークランプを固定しているキャップボルト (C) を緩めます (1辺につき3本、転倒防止機構がある場合は1辺につき4本)。キャンバークランプの前後にある平らな面を見つけます。正確に 90°の角があるもの (差金や製図用三角定規など) を平らで水平な面に置き、直角を構成するもう1辺をキャンバークランプの平らな面に沿わせます。キャンバークランプとプラグを一体のまま回して、キャンバークランプ (G) の平らな面が角度の基準として置いた物と平行になるようにします。

ねじ (C) を締める前に、キャンバークランプが車椅子のフレームを基準に水平方向の中央に位置しており、アウターキャンバークランプ下の平らな部分が左右に平行していることを確認します。キャンバークランプの先端はキャンバークランプの最も外側の部分と同一平面になっていることが必要です。留め具に 7Nm (62 インチポンド) のトルクをかけます。

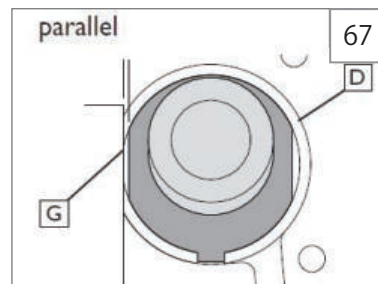
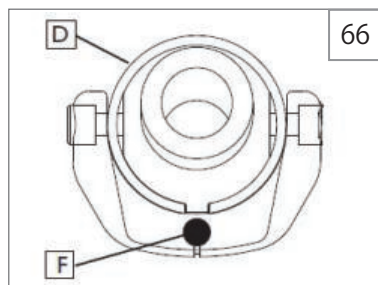
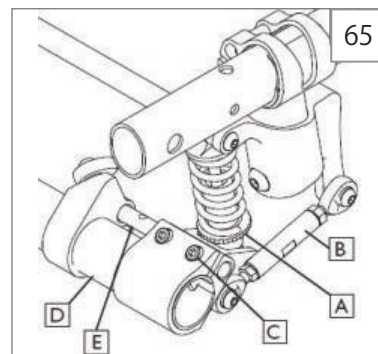
メモ - 4リンク式リアサスペンションの調整を行う際には、1度に加える変更は1つのみとし、変更内容を記録します。忍耐が必要ですが、リアサスペンション関連の変更それぞれが車椅子の乗り心地に与える影響を理解するのに役立ちます。

メモ - 下部のショックマウントは緩みがあるような設計になっていますが、これは適切なたわみを生じさせるためです。

メモ - キャンバークランプをショックキャンバークランプに接続しているパレルナット (E) は絶対に外さないでください。

#### 5. 4リンク式サスペンションのメンテナンス

- ショックエンドブッシングやコイルに潤滑剤を塗らないでください。
- リンク端には、中性洗剤と柔らかいブラシで清掃した後に潤滑剤を塗ることができます。
- 柔らかいブラシでコイルシステムの汚れやゴミを除去します。
- 4リンク式リアサスペンションの清掃には絶対に高圧洗浄機を使用しないでください。



## IX.販売店による整備と調整

### P. 後輪の車軸

Quickie 車椅子の調整において最も重要なものが、後輪車軸の位置調整です。重心と車輪のキャンバーは車軸の調整によって決まります。

#### 1. 重心の調整



#### 警告

後輪が前にあるほど、車いすは後に転倒しやすくなります。調整は常に少しずつ行い、車椅子の安定性を確認します。その際、転倒を防ぐため、補助者についてもらいます。変更慣れて転倒する危険性がなくなったと確信するまでは転倒防止装置を使用することをお勧めします。その他の警告については、セクション VI「転落と転倒」を参照してください。

メモ – 重心の変更は後座高セクション IX-L)、後輪のトーイン/トーアウト(セクション IX O-3)、キャスターの直角度に影響を及ぼすことがあります。重心の位置を変更する場合は、必要に応じてこれらの設定も再調整してください。セクション IX-J を参照してください。

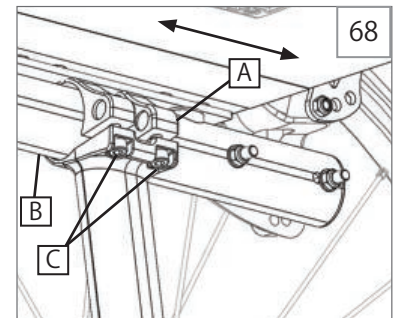
メモ – 車椅子の重心を調整する場合、ブレーキ (搭載されている場合) の位置も再調整する必要があります。ブレーキ調整の手順については、セクション IX-F を参照してください。

メモ – 行える調整の幅は、車椅子の設定や選択しているオプションによって限定されることがあります。

#### a. 重心の調整: オープンフレーム 68

重心の位置は、2つの車軸プレートクランプ (A) をシートチューブ (B) 上で前後に動かすことにより調整できます。車軸プレートクランプを前に動かすと、ホイールベースが短くなって前部が軽くなり、車椅子の機動性が向上します。車軸プレートを後ろに動かすと、車椅子の安定性が増し、後方に転倒しにくくなります。

- i. 重心の位置を調整するには、両後輪を取り外します。
- ii. 車軸プレート (A) をシートチューブに固定している4本のねじ (C) (1辺に2本) を緩めます。両方の車軸クランプを、希望する位置までシートチューブに沿って前後にスライドさせます。  
ねじを締めなおす前に、両サイドを均等に調整してください。ねじを 7Nm (62 インチポンド) で締めます。
- iii. 車軸プレートクランプを固定したら、後輪を取り付けます。
- iv. 車椅子に乗って動かしてみて、調整後の感覚を確認します。この時、補助者を付けてください。



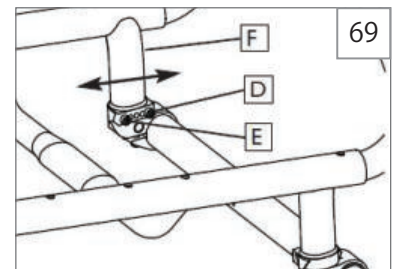
#### b. 重心の調整: アクティブリジッドフレーム 69

メモ – アクティブキャンバー設定: 車軸プレートは、各オーダーにおける重心要件にしたがって溶接されています。

メモ – キャンバークランプは、重心が 0.5-in または 4.0-in に設定されている場合を除き、キャンバーチューブマウントの中央に配置します。

重心の位置は、キャンバーチューブクランプ (D) をキャンバーチューブマウント上で前後に動かすことにより調整できます。キャンバーチューブクランプを前に動かすと、ホイールベースが短くなって前部が軽くなり、車椅子の機動性が向上します。キャンバーチューブクランプを後ろに動かすと、車椅子の安定性が増し、後方に転倒しにくくなります。

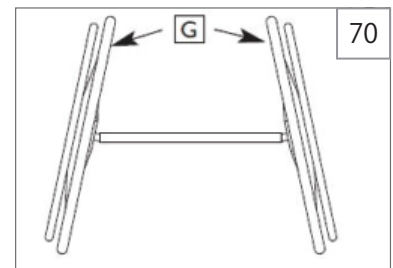
- i. 重心の位置を調整するには、両後輪を取り外します。
- ii. キャンバーチューブクランプをキャンバーチューブマウント (F) に固定している4本のねじ (E) (1辺に2本) を緩めます。両方のキャンバーチューブクランプを希望する位置まで前後に動かします (両方が均等になるようにします)。この時、キャンバーチューブクランプの穴がキャンバーチューブマウントに沿って並んでいるようにしてください。ねじを締めなおす前に、両サイドを均等に調整してください。  
ねじを 7Nm (62 インチポンド) で締めます。
- iii. キャンバーチューブクランプを固定したら、後輪を取り付けます。
- iv. 車椅子に乗って動かしてみて、調整後の感覚を確認します。この時、補助者を付けてください。



#### 2. ホイールキャンバー 70

ホイールキャンバーは図に示す通り角度がついているもので (G)、ホイールベースの幅と角度が増すことで横方向の安定性が高くなります。また、ターンも素早く行え、ハンドリム上部へのアクセスもしやすくなります。

ホイールキャンバーは、Sunrise Medical 販売代理店が提供している交換可能なキャンバープラグによって決まります。角度は 0°、3°、6° があります。



3. トーイントーアウトをゼロに設定 71 72 73 74

メモ - 0° のキャンバープラグを装備している車椅子では、トーイントーアウトの設定を行えません。この調整は、3° か 6° のキャンバープラグを使用している場合にのみ必要です。

トーとは、車椅子の後輪が床面に対してどの程度まっすぐになっているかを示すものです。これは、車椅子の転がりやすさに影響します。ホイールのトーがゼロに設定されていると、引きずりまたは転がり抵抗が最適な状態で最小化されます。

4. トーをゼロに設定 71 72

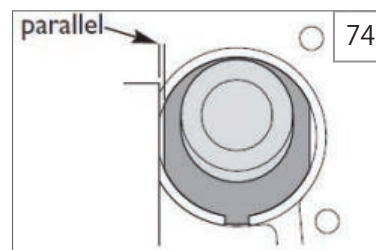
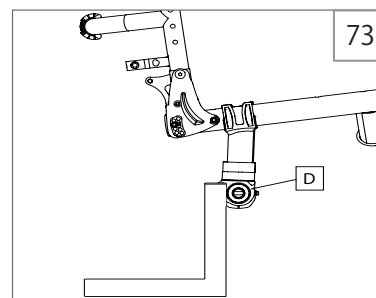
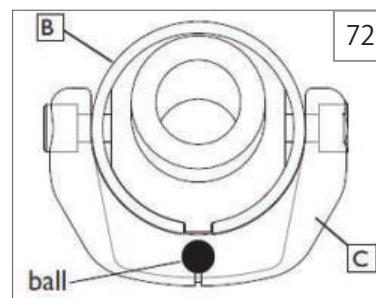
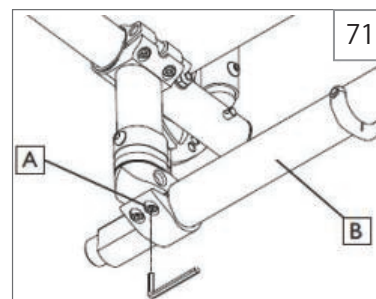
キャンバーチューブクランプを固定している 4 本のねじ(A) (1 辺に 2 本) を緩めます。水準器(C) のボールを見ながら、キャンバーチューブ (B) をボールが中心に来るまで回します。これで、トーがゼロに設定されました。

ねじ (A) を締める前に、キャンバーチューブが車椅子のフレームを基準に水平方向の中央に位置していることを確認します。キャンバーチューブの先端はキャンバーチューブクランプの最も外側の部分と同一平面になっていることが必要です。留め具 (A) に 7Nm (62 インチポンド) のトルクをかけます。

5. トーをゼロに設定 - 別の方法 73 74

車椅子全体を平らで水平な台や地面に置きます。キャンバーチューブクランプを固定している 4 本のねじ (A) (1 辺に 2 本) を緩めます。キャンバープラグ (D) の前後にある平らな面を見つけます。正確に 90° の角があるもの (差金や製図用三角定規など) を平らで水平な面に置き、直角を構成するもう 1 辺をキャンバープラグの平らな面に沿わせます。キャンバーチューブとプラグを一体のまま回して、キャンバープラグの平らな面が角度の基準として置いた物と平行になるようにします。

ねじ (A) を締める前に、キャンバーチューブが車椅子のフレームを基準に水平方向の中央に位置していることを確認します。キャンバーチューブの先端はキャンバーチューブクランプの最も外側の部分と同一平面になっていることが必要です。留め具に 7Nm (62 インチポンド) のトルクをかけます。



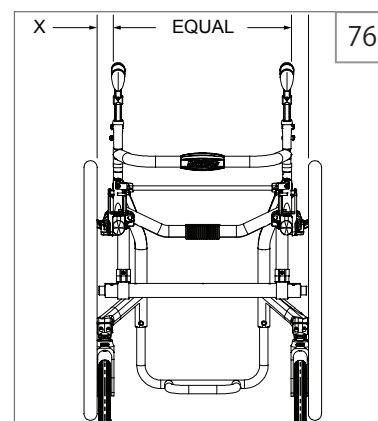
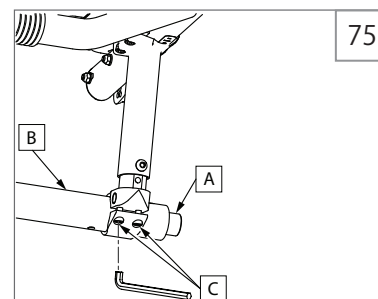
## IX.販売店による整備と調整

## Q. 後輪のスペーシング 75 76

後輪のスペーシングとは、後輪の最上部とバックサポートパイプとの隙間を計測したもので、寸法で表します (X) 工場では、選択したオプションに応じて可能な限り狭く設定されます。

メモ - 後輪のスペーシングを設定する際には、1度に片側ずつ調整してください。両側を緩めると、トーの設定が失われてしまいます。

後輪のスペーシングを調整するには、キャンバーの差し込み (A) をキャンバーチューブ (B) に順番にはめ込んだり抜いたりします。可動域の最も外側では止まるようになっています。車椅子の左側のねじ (C) (キャンバーチューブに最も近いもの) を緩めます。キャンバーの差し込みを内外にスライドさせて、必要なホイールのスペーシングを作ります。ねじを 7Nm (62 インチポンド) で締めます。同じことを右側にも行い、左側に設定したのと同じスペーシングを設定します。



## R. 確認

車椅子を組み立てて調整したら、なめらかかつ軽く動くはずで、すべてのアクセサリもスムーズに機能するはずで、問題があれば、次の手順に従ってください：

1. 設定と確認のセクションと操作ガイドを見直し、車椅子が正しく準備されていることを確認します。
2. このセクションの冒頭にあるトラブルシューティングチャートを確認します。
3. 問題が続く場合は、担当の Sunrise Medical 販売代理店に連絡してください。担当の Sunrise Medical 販売代理店に連絡しても問題が解決しない場合は、Sunrise Medical のカスタマーサービスに連絡してください。担当の Sunrise Medical 販売代理店や Sunrise Medical のカスタマーサービスに連絡する方法は、「序」を参照してください。

## A. 生涯保証

フレームとクロスブレース（装備されている場合）の保証：

1. この車椅子に想定されている有効実用期間は5年ですが、Sunrise Medical ではフレームとクロスブレースの材料および製造上の欠陥について生涯、あるいは最初の購入者が車椅子を所有している限り、保証します。
2. この保証は次の場合には適用されません：
  - a. 車椅子が乱暴に扱われている場合
  - b. 車椅子がオーナーマニュアルでの推奨事項通りに維持されていない場合
  - c. 車椅子が最初の購入者から他者に譲渡されている場合

## B. — (1) 年保証

この車椅子の Sunrise 製部品すべての材料および製造上の欠陥について、最初の購入者が購入した日から一年間保証します。

張力調整式バックサポート（3DX、Ballistic、EXO、EXO PRO）：

張力調整式バックサポートはそれぞれ、最大限のパフォーマンスを発揮できるように注意深く検査とテストが行われています。すべての張力調整式バックサポートは、通常の使用下では材料および製造上の欠陥が生じないことを購入日から12か月間保証します。最初の購入日から12か月の間に材料および製造上の欠陥が生じた場合、Sunrise Medical は随意に無償で修理または交換いたします。この保証は、パンク、破れ、焼けに対しては適用されません。

申請と修理は最寄りの Sunrise Medical 販売代理店を通じて行われるものとします。ここに明示的に保証されている場合を除き、商品性の黙示保証および特定目的適合性の保証を含むその他すべての保証は除外されます。ここに明示されている保証以外の保証はないものとします。ここに明示されている保証が履行されなかった場合の対応は製品の修理または交換に限定されます。いかなる場合も、保証が履行されなかった場合の損害およびその間接的損害は、販売した不適合品のコストを越えないものとします。

## C. 限定保証

1. 以下は保証されません：
  - a. タイヤ、チューブ、背布、パッド、プッシュハンドルのグリップ。
  - b. 怠慢、事故、誤った使用、不適切な取り付けや修理による損傷。
  - c. Sunrise Medical の書面による明示的な同意のない改変が行われた製品
  - d. 重量制限の超過による損傷。
2. 車椅子に添付されているオリジナルのシリアルナンバータグが除去または変造されている場合、この保証は無効となります。
3. この保証は米国においてのみ適用されます。国際保証が適用されるかどうかについては、販売代理店にお問い合わせください。
4. この保証は譲渡できず、Sunrise Medical 販売代理店から購入した最初の購入者にのみ適用されます。

## D. 当社の責任

当社の唯一の責任は対象部品の修理または交換です。これが間接的損害に対する排他的な救済策です。

## E. お客様の手続き

1. この保証の有効期間中に、当社から返品または対象部品の修理の承認を得ます。
2. 車椅子を購入した販売代理店にお問い合わせください。

## F. お客様への告示

1. 法律が許す範囲で、この保証がほかのすべての保証（書面または口頭、明示的または黙示的、商品性の黙示保証または特定目的適合性の保証）に代わります。
2. この保証によりお客様は特定の法的権利を付与されます。また、州によって異なる他の権利が付与される場合があります。

今後のために、シリアルナンバーをここに記録しておいてください：

---



メモ





メモ

メモ



Sunrise Medical • 2842 N. Business Park Ave. • Fresno, CA 93727 •  
USA カナダ (800) 263-3390



カスタマーサービス : 800.333.4000  
[www.SunriseMedical.com](http://www.SunriseMedical.com)

©2021 Sunrise Medical (US) LLC  
04.2021 P/N 249817 改定 C